

平成 2 0 年度

事 業 報 告 書

財団法人京都産業 2 1

## 目 次

府内中小企業の状況	1
平成20年度の事業活動	3
○財団の運営概要	4
「財団の運営基盤整備」＝府内中小企業をしっかりと支えるために	
(1) 理事会、運営会議、監事監査	4
ア 理事会の開催状況	4
イ 運営会議の開催状況	4
ウ 監査の実施	5
(2) 第2次中期計画の策定	5
(3) 事業部間連携、事業の改善	5
(4) 次代を担う強みを持った人材の体系的な育成研修の企画・実施	5
(5) 広報誌の発行、ホームページによる広報活動	5
(6) 会員の拡充	6
(7) 新公益法人への移行準備	6
○ 事業の概要	7
1 「生き抜く」＝中小企業が厳しい環境を乗り越えるために	7
(1) 金融、下請け、経営相談等、総合的な相談・専門家派遣事業の推進	7
ア 相談サービスの拡充	7
イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施	8
ウ 高度化診断助言の実施	8
エ 経営改革機動班の設置	9
オ ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導	9
カ 専門家派遣	9
キ 受発注取引の適正化	10
ク 巡回相談	10
ケ 貿易、海外投資に係る相談	10

(2) 中小企業緊急雇用安定助成金申請企業に対する教育訓練事業の支援	10
(3) 京都ビジネス交流フェア等販路開拓の広域化、海外展開	10
ア 京都ビジネス交流フェア2009の開催	11
イ 京都ビジネスパートナー交流会 in 愛知の開催	11
ウ 第二創業販路開拓フェア	11
エ 新規市場・商談取引獲得に向けたマーケティング活動	11
オ 創援隊の活用	12
カ 伝統産業欧州販路開拓事業	12
キ 取引あっせん	12
ク 調査・情報の提供等	13
(4) 丹後・知恵のものづくりパークにおける機器活用、技術研修の実施	14
(5) 商業の活性化支援	15
ア 情報誌「まいんど Kyoto」の発行	15
イ ビデオライブラリーの運用	15
ウ 小売商業者に対する情報提供事業	15
エ 商店街等活性化助成の実施	16
オ 新規開業者等総合支援事業	17
2 「足元を固める」＝中小企業が社内を見直し経営力を向上させるために	18
(1) 人材育成・事業承継支援、京都経営品質協議会の運営支援	18
ア 起業家セミナーの開催	18
イ 人材研修事業（人づくり塾）の実施	18
ウ 北部中小企業管理者研修の実施	19
エ （独）中小企業基盤整備機構受託講習会の実施	19
オ 若者と中小企業とのネットワーク構築事業の実施	19
カ 貿易セミナー、貿易実務講座	20
キ 京都経営品質協議会の運営支援	21
ク ビジネスモデルの創出事業	22

(2) 情報活用能力の向上支援、生産等のIT化(EDI)の支援	22
(3) 設備貸与による生産技術の向上と資金調達円滑化の促進	24
(4) 知的財産の活用支援、知恵の経営の促進	25
(5) 地域力連携拠点事業の取り組み	25
(6) 地域資源活用支援事業の支援	25
3 「次代に備える」＝中小企業が強みを伸ばし成長分野に対応するために	26
(1) 試作、環境、ユビキタス等新京都ブランド産業分野、成長分野への 進出支援	26
ア 試作産業の推進	26
イ 新たなビジネスモデルを切り口とした販路開拓	27
ウ 京都ユビキタス特区事業	27
(2) 技術顕彰、産学公連携による製品開発助成、高度人材確保支援等もの づくり技術の向上支援	29
ア 技術顕彰(京都中小企業技術大賞等)の実施	29
イ 研究開発の支援	29
ウ 連携・交流の推進	30
エ 産学・企業間連携ニーズ調査の実施	31
オ 京都大学高度専門人材マッチング事業	31
カ 工業系高校への支援	31
キ 京都企業創造ファンドの運営協力	31
ク ウエルネス産業の創出支援	32
(3) きょうと元気な地域づくり応援ファンドによる地域資源活用の支援	32
(4) 異業種交流等の企業間連携の推進	32
ア 京都府異業種交流会連絡会議(49グループ)の運営支援	32
イ 伝統産業協働バンクの運営支援	33
ウ グループ活動への支援	33
(5) 京都府元気印中小企業認定や経営革新計画承認等の計画的推進	35

(6) けいはんな、K I I C会員等企業グループ研究会の活動支援	35
ア ベンチャー支援事業関連審査等の実施	36
イ 南部フロンティア支援事業	36
(7) 北部支援センターの取り組み	39
(8) K I I C会員等企業グループ研究会の活動支援	41

(資料)

1 財団の現況	43
2 平成20年度第4回受注登録企業動向調査結果の概要	44

## 平成20年度財団法人京都産業21事業報告

### 府内中小企業の状況

平成20年度のわが国の産業活動は極めて厳しい景況下に推移した。前半は原油の高騰、原材料・資源の高騰に苦しみ、後半は9月のリーマンショックに端を発した世界同時不況によって、輸出の落ち込み、需要の減少による企業収益力の悪化等、主要産業である自動車、半導体、工作機械はじめとする広範な産業が想像を越える甚大な打撃を受けた。基幹産業を支える中小企業への影響も極めて深刻なものとなった。

その結果、受注の減少による休業も増加し、平成21年3月の雇用調整助成金対象者の申請は237万9069人(前月比28%増)申請件数4万8226事業所(同57%増)。この申請件数に占める中小企業の比率は94%であった。

申請を受理した事業所の数は平成20年度(平成20年4月 平成21年3月)で合計9万4168カ所。そのうち97%が第4四半期の申請であった。平成20年度末の対象者数累計は528万9431人となっている。

完全失業者数は平成20年11月から平成21年3月まで5ヶ月連続増加し335万人、3月には前年同月比67万人増となるなど雇用情勢の急激な悪化を招いている。

この間、景気指標の一つである鉱工業生産指数は、平成20年10月以降平成21年2月まで5ヶ月連続で下落し、平成17年度を100として過去最低の69.5となった。3月はわずかながら上昇に転じ70.6となったが、前年同月比マイナス34.2%と依然として低いレベルにある。

財団の顧客である府内中小製造業においても、平成20年度下半期以降、かつて経験したことのない受注の急激かつ大幅な落ち込みという極めて厳しい状況に直面し、経営力、技術力の創意的な革新への努力が行われている。

平成21年3月末に実施した財団の受注登録企業動向調査の結果を前回の平成20年12月末調査と比較すると、回答のあった製造業の中小企業205社(回答率68.3%)のうち、受注が減少したとする企業が50.7% 66.8%に増加しており、やや減少した企業を含めると86.8%の企業が受注量の減少に直面している。

ただし、前回の調査時点で受注が減少した企業の急増ぶりに比べると、その増加度合いは前回の32.1%から16.1%に緩和されている。

また、平成21年度第1四半期の受注量見通しについても、減少するとした企業が79.4%から71.2%に減っており、不変が16.7%から24.4%に増え、増加が3.8%から4.4%に僅かながら増えている。

平成21年3月下旬に実施した府北部機械金属業界の景況動向調査では、回答のあった舞鶴、宮津、与謝2町、京丹後の80社(回答率64%)の平成20年度第4四半期実績の業

況判断指数（D I）がマイナス 91.3%（第3四半期同 71.4%）、採算状況が赤字 79.5%（前期 59.2%）、受注状況は減少 93.7%（うち半減以下 63.7%）となっている。平成21年第1四半期の受注見通しは、増加が 4.1%（前期ゼロ）、減少が 57.5%（前期 81.2%）と若干回復が見られ、本部での調査と同様の傾向を示している。

また、金融面でのニーズの高まりも顕著であり、平成21年1月から府・市が協調して創設した「中小企業緊急資金対策融資制度」（対象 698 不況業種、年利 1.8%、返済期間 10 年以内、平成22年度末まで）の利用も、開始3週間で 2100 件、670 億円の申し込みがなされるなど、かつてない多さとなっている。

さらに当財団の主要な財政基盤である京都府においても、不況の影響を受けて、21年度当初予算における地方法人二税の税収減が 530 億円と過去最大の規模になっている。

## 平成20年度の事業活動

当財団の平成20年度の事業活動は、このような環境下で三現主義に基づく「顧客とのコミュニケーションを最も大切に」し、「中小企業の企業活動に真に役立つ質の高いサービスの提供」を目指した諸活動を進めてきた。

平成20年度は課題であった第2次中期計画（09 - 11）を策定する中で、財団の基本理念を再確認するとともに、

府内中小企業が

- 1．厳しい環境を乗り切るために「生き抜く」
- 2．社内を見直し経営力を向上させるために「足元を固める」
- 3．強みを伸ばし成長分野に対応するために「次代に備える」

ための支援事業を、京都府、市町村、中小企業基盤整備機構近畿支部、産業支援機関、教育・研究機関、金融機関、産業団体等と緊密な連携をはかりつつ推進してきた。

このような中、自動車関連産業等が多く立地する府中北部地域をはじめ、府内全域での休業に対する中小企業緊急雇用安定助成金の申請が急増しており、府内中小企業の平成21年3月末の申請累計は1,296社、24,272人となっている。

財団の北部支援センターにおいても関係機関と連携を図りつつ、休業期間に対応する教育訓練事業（北部ものづくり人材・パワーアップ緊急対策事業）を丹後地域、中丹地域において緊急に実施したところである。

あわせて、平成20年10月に京丹后市峰山町にオープンした丹後・知恵のものづくりパークに北部支援センターが入居し、パークの管理運営を担うとともに年度末にかけてものづくり関連装置・設備の整備を進めてきた。

一方、平成21年2月に、パルスプラザで開催した京都ビジネス交流フェア2009（第10回）においては全体で約300の企業、グループ、産業支援機関、大学、金融機関等の出展やプレゼンテーションを得て、過去最大の8,000人を超える来場者を迎えるなど、府内中小企業製造業の、厳しい中でこそその前向きな取り組みを実感できたのは大きな収穫であった。

府内中小企業の未曾有の危機に対して、引き続き、顧客の皆様の強い期待に応える必要で効果的な支援事業を、さらなる改善と財団内部の環境整備を図りつつ、関係各位のご支援を賜りながら今後とも全力をあげて迅速に遂行して行く所存である。

## 財団の運営概要

### 「財団の運営基盤整備」= 府内中小企業をしっかりと支えるために

第2次中期計画の策定を行うとともに、財団内情報交換会の定例化、スキルアップ研修の実施、ホームページのリニューアルによる広報活動の強化、会員の拡充、新公益法人への移行準備など、財団の基盤を強化する取り組みを進めた。

#### (1) 理事会、運営会議、監事監査

##### ア 理事会の開催状況

第18回 平成20年6月20日(金) リーガロイヤルホテル京都

- ・平成19年度(財)京都産業21の事業報告について議決を求める件
- ・平成19年度(財)京都産業21の収支決算の議決及び監査報告の件
- ・平成20年度(財)京都産業21収支補正予算(案)について議決を求める件
- ・(財)京都産業21運営会議委員の選出の件
- ・(財)京都産業21寄附行為の一部改正について議決を求める件
- ・(財)京都産業21旅費規程の一部改正の専決処分について同意を求める件
- ・(財)京都産業21職員給与規程の一部改正の専決処分について同意を求める件
- ・(財)京都産業21の理事長の選出を求める件
- ・(財)京都産業21顧問の選出を求める件

第19回 平成21年3月12日(木) リーガロイヤルホテル京都

- ・(財)京都産業21の「第2次中期計画(案)」について承認を求める件
- ・(財)京都産業21事業計画(案)について議決を求める件
- ・平成21年度(財)京都産業21収支予算(案)について議決を求める件
- ・平成21年度(財)京都産業21事業に係る長期借入金について議決を求める件
- ・平成20年度(財)京都産業21収支補正予算(案)について議決を求める件
- ・(財)京都産業21運営会議委員の選出の件
- ・(財)京都産業21就業規則の一部改正について議決を求める件
- ・(財)京都産業21就業規則の一部改正の専決処分について同意を求める件
- ・(財)京都産業21の理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選出を求める件

##### イ 運営会議の開催状況

第23回 平成20年6月12日(木) 京都府産業支援センター

- ・(財)京都産業21の理事の選任を求める件

第24回 平成20年6月25日(水) 京都府産業支援センター

- ・平成19年度(財)京都産業21の事業報告について同意を求める件
- ・平成19年度(財)京都産業21の収支決算について同意を求める件
- ・平成20年度(財)京都産業21収支補正予算(案)について同意を求める件
- ・(財)京都産業21寄附行為の一部改正について議決を求める件

- 第25回 平成21年3月5日(木) 京都府産業支援センター  
・(財)京都産業21の役員の選任を求める件

- 第26回 平成21年3月19日(木) 京都府産業支援センター  
・平成21年度(財)京都産業21の事業計画(案)について同意を求める件  
・平成21年度(財)京都産業21の収支予算(案)について同意を求める件  
・平成21年度(財)京都産業21事業に係る長期借入金について同意を求める件  
・平成20年度(財)京都産業21収支補正予算(案)について同意を求める件

## ウ 監査の実施

平成20年5月29日(木) 監事監査(財団監事)及び業務指導検査(京都府)

### (2) 第2次中期計画の策定

平成16年度からの5年間にわたる第1次中期計画による「顧客接点の増大」の成果を受け継ぎ、「中小企業の企業活動に真に役立つ質の高いサービスの提供」を目指す、平成21年度から3ヶ年にわたる第2次中期計画を策定することとし、平成20年度下期に検討委員会を設置し外部コンサルタントも導入し、素案を作成し、平成21年3月12日開催の理事会で審議の上、議決された。

### (3) 事業部間連携、事業の改善

円滑な業務運営には、各事業部間の連携が不可欠であり、そのため毎週全職員による情報交換会を開催するとともに、ビジネス交流フェアをはじめ情報誌の編集、地域連携拠点事業等特に連携が必要な事業については、個別に調整会議を設置し、連携に努めている。

### (4) 次代を担う強みを持った人材の体系的な育成研修の企画・実施

- |           |   |
|-----------|---|
| 派遣研修      | ・中小企業大学校等へ職員を研修派遣 4回(延べ4人)<br>「マーケティング力強化支援」<br>「創業支援の効果的な進め方」<br>「企業の目利き ~ 経営資源の見方(1)」<br>「活性化担当者研修」 |
| 職員研修      | ・人権問題職員研修(2回) 健康管理セミナー(2回)  |
| スキルアップ研究会 | ・外部講師等を招聘して研究会を開催 7回  |

### (5) 広報誌の発行、ホームページによる広報活動

- ア クリエイティブ京都M&Tの発行<年間11回 各6,000部発行>  
京都府産業支援センターを構成する京都府中小企業技術センターと財団の連携の一環として、情報誌「クリエイティブ京都M&T」を発行
- イ 情報誌「まいんどKyoto」の発行(10月・2月の年2回、3,600部/回)  
あきんど講座等の講演要旨、繁盛店レポート(繁盛店の秘訣)、チャレンジ精神

あふれる商店街や商業者グループレポート、京の老舗レポートを紹介する情報誌として発行。

ウ 当財団を総合的に紹介するパンフレット「財団法人京都産業21」の発行(6,000部)

エ 財団ホームページによる情報発信

アクセス数：648,790件(592,940件)、月平均：54,065件(49,411件)

#### (6) 会員の拡充

会員区分		平成20年3月	継続加入	新規加入	平成21年3月
KIIIC 会員	大会社	28	25	0	25
	中会社	81	72	0	72
	小会社	40	34	2	36
	グループ	33	31	0	31
	計	182	162	2	164
賛助会員		46	49	1	50
合計		228	211	3	214

#### (7) 新公益法人への移行準備

京都府や関係団体が主催する新公益法人制度の説明会等に担当者を参加させ、新制度への移行や新会計基準についての説明を受けるとともに、他団体との情報交換を行う等必要な準備を行った。

## 事業の概要

本年3月の理事会で承認された平成21年度事業計画の項目に即して、平成20年度事業を報告する。

### 1 「生き抜く」= 中小企業が厳しい環境を乗り切るために

#### (1) 金融、下請け、経営相談等、総合的な相談・専門家派遣事業の推進

京都府産業支援センターお客様相談室、下請かけこみ寺、経営改革機動班、登録専門家特別相談、無料法律相談、けいはんな支所、北部支援センターなどの機能をフルに活用し、平成20年10月にスタートした京都府の緊急サポート事業など他の支援機関とのネットワークも活用しながら、中小企業の様々な課題に機敏に総合的に対応してきた。

#### ア 相談サービスの拡充

平成17年4月から(財)京都産業21と京都府中小企業技術センターが連携して京都府産業支援センターを構成し、その機能の一環である総合相談窓口(お客様相談室)を引き続き運営し、来所者への的確な案内、経営・技術の両面からワンストップサービスを進めるとともに、年末を控え厳しい経営環境にある中小企業を支援するため、緊急経営相談ホットラインの休日開設を行った。

経営・技術に関する経営相談、(財)京都産業21が実施する支援策に関する相談等、財団組織をあげて各種の相談にきめ細かく対応した。

一般相談事業は、北部支援センターの拡充や元気な地域づくり応援ファンド、地域力連携拠点事業等の新規事業の実施等に伴い、前年度より739件増加の6,228件(5,489件)の相談となった。

相談企業の業種は、製造業が70.0%と最も多く、サービス業13.6%、小売業4.6%、建設業1.7%となっており、主に、製造業、サービス業、小売業、建設業で増加した。内容別では、経営全般が35.5%、資金14.0%、マーケティング10.1%、ビジネスプラン7.5%となっている。ビジネスプラン、取引適正化の件数が大きく増加したが、本年度から実施した元気な地域づくり応援ファンド事業や下請かけこみ寺の開設などが要因と思われる。

相談企業数	内 訳					
	製造業	卸売業	建設業	小売業	サービス業	その他
5,540件 (4,820)	3,877 (3,389)	44 (42)	94 (71)	255 (190)	754 (552)	516 (576)
	70.0%	0.8%	1.7%	4.6%	13.6%	9.3%

( )内は前年度

相談内容別計	内 訳							
	経営全般	マーケティング	資金	法律	労務	税務	技術	ビジネスプラン
6,228件 (5,489)	2,212 (1,356)	630 (949)	873 (806)	17 (15)	46 (47)	16 (35)	140 (159)	464 (94)
	35.5%	10.1%	14.0%	0.3%	0.7%	0.3%	2.2%	7.5%
	IT	取引適正化	事業提携	会社設立	省エネ	ISO	特許	その他
	250 (163)	165 (18)	38 (179)	7 (12)	35 (6)	12 (15)	57 (85)	1,266 (1,550)
	4.0%	2.7%	0.6%	0.1%	0.6%	0.2%	0.9%	20.3%

( )内は前年度

## イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施

中小企業からの様々な日常的な相談に対応し、支援活動の拠所としての機能を高めるため、経営支援専門員を配置しており、また毎週木曜日午後には専門家特別相談(専門家3名の交代対応による)を実施した。相談件数は、経営相談員及び専門家特別相談とも前年度と概ね同数であった。

区分	担当者	開設日数	相談件数	支援内容	
経営支援相談員	江川 宗治 氏 元村田製作所生産技術部次長	週4日 (週4日)	160件 (156)	経営革新 33(21) 創業 6(4) その他 121(131)	
専門家特別相談員	西村 卓 氏 (有)アイディール取締役	50日 (48日)	84件 (86)	24件 (23)	経営革新 11(6) 創業 8(12) その他 5(5)
	安田 徹 氏 安田徹事務所所長			31件 (38)	経営革新 5(3) 創業 9(10) その他 17(25)
	山崎 忠夫 氏 (株)ザ・ブレーン代表取締役			29件 (25)	経営革新 6(4) 創業 8(6) その他 15(15)

( )内は前年度

## ウ 高度化診断助言の実施

独立行政法人中小企業基盤整備機構の規程に基づく高度化事業に係る資金の貸付け等の利用者に対して診断助言を実施した。

区分	診断助言の区分				合計
	設備リース事業	共同施設事業	商店街整備事業	施設集約化事業	
件数	組合 1件(1) 組合員 1件(0)	組合 2件(2)	企業 1件(1) <関連店 13件>	組合 1件(1) <関連店舗 12件>	6件(5)

( )内は前年度

## エ 経営改革機動班の設置

ビジネス・スーパーバイザーを主宰者とするチーム「経営改革機動班」を設置し企業の抱える多面的又は継続的な検討が必要な事例として、昨年度からの継続3件及び新規20件の計23件について、検討・助言や財団支援策の適用、また、地域力連携拠点事業に支援に係る技術的なアドバイスなどの支援を実施した。

## オ ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導

経営又は技術部門を統括した経験を有するビジネス・スーパーバイザー(3名)により事業計画の評価や助言・指導を実施した。

実施形態	回数	内容等
ベンチャー事業可能性評価委員会	5回	インキュベートルーム入居審査(3回) 環境産業等産学公研究開発支援対象企業評価・審査(2回)
ベンチャー事業可能性評価委員会小委員会(ビジネス・スーパーバイザー会議)	概ね週1回	ベンチャー事業可能性評価委員会事前審査(4回) 創援隊交流会発表企業選考・審査 創援隊プレゼン指導・助言(5回) 経営革新計画プレゼンのブラッシュアップ(10回) 中小企業研究開発等補助申請等の審査、ミーティング等
個別企業訪問	10回	後継者経営企業、ベンチャー企業、インキュベートルーム入居企業等へのフォローアップ調査及び助言・指導等
会議等	3回	ビジネスプランコンテスト審査等

## カ 専門家派遣

財団に登録した民間専門家(計171名(154名))から課題の適任者を中小企業に派遣を行い、診断・助言を実施した。

<派遣実績：81企業、延274回(66企業、延263回)>

利用企業の業種は、製造業48%、サービス業25%、その他業種14%、小売11%、卸売2%で、建設業を除き各業種から利用があった。また、経営の革新に分類されるものが94%と多く、支援課題としてはIT、経営全般、マーケティングに関するものが多かった。

<専門家の分野別登録の状況：171名(154名)>

法律	4名(5)	経営全般	8名(3)	技術(金属)	2名(8)
知的所有権	11名(8)	経営戦略・マーケティング	26名(23)	技術(化学)	8名(4)
創業・ベンチャー	10名(7)	情報システム	14名(8)	技術(電気・電子)	6名(2)
資金調達・株式公開	2名(2)	環境管理	12名(8)	技術(食品)	3名(6)
財務・税務	14名(9)	品質管理	2名(4)	技術(繊維)	4名(3)
労務・人材開発	11名(10)	生産管理	2名(4)	技術(その他)	1名(11)
国際ビジネス	5名(4)	技術(機械)	8名(9)	デザイン・店舗設計	10名(5)
経営品質向上	2名(6)	その他	6名(2)		

( )内は前年度

## キ 受発注取引の適正化

(財)全国中小企業取引振興協会の委託を受け、専任の常勤相談員を配置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス等を実施。また、11月より、相談弁護士を配置し、定期的に無料法律相談を実施した。

下請代金法関係						
支払遅延	代金減額	返 品	買ったたき	不当な経済上の利益提供要請	その他	小計
7	1	5	0	0	8	21
建設業 関係	運送業(代金 法関連除く)	その他	合計	対応		
				相 談	A D R	
15	8	35	79	79	1	

うち、弁護士相談 22 件

\* A D R (裁判外紛争解決手続(和解の仲介))

## ク 巡回相談

専門家あるいは財団職員による小規模事業所に対する訪問指導・助言の実施

巡回相談企業数 35 社 ( 46 社 ) うち専門家派遣企業 21 社 ( 11 社 )

## ケ 貿易、海外投資に係る相談

「海外ビジネスチャレンジネットワーク」(ジェットロ京都情報デスク)における専門相談員による貿易、海外投資に係る相談に対して助言や情報提供を行った。4月から3月末までの相談件数は、220件(206件)で14件の増加、輸出関連が53%と過半数で、地域的には中国やその他のアジアが多かった。

## (2) 中小企業緊急雇用安定助成金申請企業に対する教育訓練事業の支援

平成20年度第4四半期に京丹後市、綾部市において、中小企業の受注減少による休業に対応する教育訓練事業等を、地域ニーズに即応しながら産業団体、教育機関、公設試験研究機関、ハローワーク等と連携して緊急実施した。

北部地域における平成21年1月以降の実施講座12講座、受講者数は延べ1,915名であった。

講座種類	講座数	延べ受講者数
技術系研修	6講座	1,350名
経営系研修	6講座	565名
合 計	12講座	1,915名

## (3) 京都ビジネス交流フェア等販路開拓の広域化、海外展開

日常的な受発注取引あっせんの効果的な推進、京都試作センター(株)内の試作グループ、伝統産業協働バンクなどの府外商談会への出展支援、創援隊事業とともに、ジェットロ京都情報デスク等との連携によるビジネス交流フェアでの海外情報の提供、伝統工

芸分野でのイタリア出展など、海外市場への積極的な挑戦を行った。

## ア 京都ビジネス交流フェア 2009 の開催

府内中小企業の開発製品や加工技術の展示及び大手発注メーカー等との商談など新規取引先開拓の場としての「ビジネスパートナー交流会（展示商談会・技術アライアンスコーナー）」や産学公連携あるいは企業連携など交流を目的とした「きょうと連携交流ひろば」、また、「ものづくり技術」「国際化」をテーマとしたセミナーなどによる「京都ビジネス交流フェア 2009」を開催した。

開催日	出展企業等	来場者数	商談件数	来場者アンケート結果(%)	
				参考になった	参考にならなかった
2月19、20日	展示商談会 200社・グループ 大手メーカー61社 連携ひろば 54大学・機関・グループ	8,150名	1,555件	97.1	2.0

## イ 京都ビジネスパートナー交流会 in 愛知の開催

愛知県内の大手発注メーカー（トヨタグループ企業をはじめ大手自動車関連メーカー）にターゲットを絞り、府内中小企業の新規取引先の開拓、技術提携の商談の場として「京都ビジネスパートナー交流会 in 愛知」を開催した。

開催日	出展企業	来場者	商談件数	会場	アンケート結果(%)	
					参考になった	参考にならなかった
12月4～5日	府内中小企業70社	220名	55件	刈谷市振興センター	43.8	12.5

## ウ 第二創業販路開拓フェア

新事業や新たな技術開発に取り組む府内中小企業を広く全国にアピールするため、全国規模で開催される展示会、商談会への出展を支援した。

展示商談会名	開催日	開催場所	出展規模	商談実績
第11回関西機械要素技術展	10月1日～3日	インテックス大阪	5社・グループ	商談件数105件 名刺受取枚数2,040枚
第38回インターネフコン・ジャパン	1月28日～30日	東京ビッグサイト	3社・グループ	商談件数54件 名刺受取枚数387枚

## エ 新規市場・商談取引獲得に向けたマーケティング活動

< 各種展示商談会でのマーケティング活動 >

展示商談会名	開催日	開催場所	出展規模	商談実績
第12回機械要素技術展	6月25日～27日	東京ビッグサイト	6社・グループ	商談件数13件 名刺受取枚数449枚
IFFT/インテリアライフスタイルリビング展	11月19日～22日	東京ビッグサイト	3社・グループ	商談件数13件 名刺受取枚数179枚
ジャパン・ショップ2009	3月3日～6日	東京ビッグサイト	1社	商談件数7件 名刺受取枚数100枚

## オ 創援隊の活用

ボランティアベースで販路拡大を支援する創援隊メンバー（平成21年3月現在188名）への新製品・新技術のプレゼンテーションと意見交換を行う交流会を京都會場3回、東京会場2回開催し、14社の企業が参加し自社製品等のPRを行った。

## カ 伝統産業欧州販路開拓事業

伝統産業分野における海外での販路拡大を図るため、京都府とイタリア・トスカナ州政府との経済等交流協定を基にした京都産業の海外市場開拓のためのモデル事業として、海外進出を考えている企業のフィレンツェ市で開催の「国際工芸見本市（Artigianato）」への出展支援、また、フランクフルトで開催された「国際消費財専門見本市（Ambiente）」への出展を支援した。

展示会名	日時	開催場所	出展者	商談実績
国際工芸見本市	4月25日～5月4日	バツ要塞 展示場 (イタリア トスカナ州フィレンツェ市)	7社	商談件数 6件 ( 10件)
国際消費財専門見本市	2月13日～2月17日	フランクフルト見本市会場 (ドイツ フランクフルト市)	2社	商談件数 50件 ( 40件)

## キ 取引あっせん

< 登録企業数 >

区 分	平成20年4月～平成21年3月		平成21年3月末	前年度末
	新規登録数	登録取消数		
発注企業	18(8)	22(10)	814(247)	818(249)
受注企業	46(0)	63(2)	2,369(56)	2,386(58)
合 計	64(1)	85(12)	3,183(303)	3,204(307)

( ) は他府県分で内数

年度途中に受発注区分の変更があったため、現在の登録数は必ずしも前年度の数+今年度増加数とはなっていない

- ・この他、インターネットによる受発注取引情報提供システム（BPNet）登録企業数 971 社

< 受発注申出・あっせん件数 >

区 分	件数・金額
発注申出件数	881 件 < 548 件 >
受注申出件数	488 件 < 401 件 >
あっせん件数	2,079 件 < 1,483 件 >
取引成立件数	64 件 < 103 件 >
当初成約金額	129,080 千円 < 64,091 千円 >

< 相談件数 >

区 分	件 数
取引あっせん相談	1,743 件 < 1,477 件 >
経 営 相 談	909 件 < 1,282 件 >
技 術 相 談	41 件 < 37 件 >
苦情・紛争相談	152 件 < 17 件 >
そ の 他	84 件 < 159 件 >
合 計	2,929 件 < 2,972 件 >

< > 内は、前年度同期の数

## ク 調査・情報の提供等

### ○ 受発注企業動向調査

発注企業、受注企業の動向を調査・分析し、調査結果を関係企業に配布するとともに、マスコミ等を通じて広報

< 発注動向調査 >

区 分	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第 1 回	平成 20 年 3 月末現在	財団登録発注企業 134 企業	96 企業	56.5
第 2 回	平成 20 年 9 月末現在		102 企業	61.8

< 受注動向調査 >

区 分	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第 1 回	平成 20 年 6 月末現在	財団登録受注企業 300 企業	200 企業	66.7
第 2 回	平成 20 年 9 月末現在		210 企業	70.0
第 3 回	平成 20 年 12 月末現在		209 企業	69.7
第 4 回	平成 21 年 3 月末現在		205 企業	68.3

### 北部地域の産業動向・景況の調査

京都府織物・機械金属振興センターから移管を受け、北部地域機械金属業界の景況動向の調査を引き続き実施

区 分	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第 1 回	平成 20 年 3 月末現在	財団登録企業 125 企業	71 企業	56.8
第 2 回	平成 20 年 6 月末現在		74 企業	59.2
第 3 回	平成 20 年 9 月末現在		74 企業	59.2
第 4 回	平成 20 年 12 月末現在		77 企業	61.6

### 丹後織物業の景況動向調査

京都府織物・機械金属振興センターから移管を受け、丹後織物業の景況動向調査を引き続き実施

区 分	調査時期	調査対象	備 考
第 1 回	平成 20 年 6 月	産地機業等 24 社	訪問聞取方式
第 2 回	平成 20 年 10 月	産地機業等 22 社	〃
第 3 回	平成 21 年 2 月	産地機業等 23 社	〃

## 室町・西陣和装市況調査

京都府織物・機械金属振興センターから移管を受け、引き続き京都和装市況調査を実施

区分	調査時期	調査対象	備考
第1回	平成20年10月	和装各種業態 6社	訪問聞取方式
第2回	平成21年 2月	和装各種業態 7社	〃

## (4) 丹後・知恵のものづくりパークにおける機器活用、技術研修の実施

京都府織物・機械金属振興センターや丹後機械工業協同組合など関係機関との連携により、平成20年度に整備した機械金属、織物の先端的な試作加工設備、検査機器の貸付規程、インストラクター委嘱等必要な支援体制の準備を行った。また導入機器の活用研修を実施した。

### 京丹後地域産業活性化協議会の設置、基本計画策定

平成19年6月に施行された「企業立地促進法」に基づき、近畿で第1号となる協議会を設置し、京丹後地域の産業活性化基本計画を審議、10月17日付けで経済産業大臣の同意を得た。

設立月日	平成19年7月5日
構成メンバー	京丹後市商工会、京都工芸繊維大学、丹後機械工業協同組合、丹後織物工業組合、京丹後市、京都府、京都産業21
会長	会長：山田正良（京都工芸繊維大学地域共同センター長）
事務局	京都産業21

### 北部産業活性化拠点・京丹後の整備

北部地域の地場ものづくり産業振興の拠点施設として、旧日本電産峰山工場跡地に整備する「北部産業活性化拠点・京丹後」の管理運営を当財団が担うことになり、日本電産、京都府と当財団が9月20日に基本協定を締結した。

平成20年10月23日グランドオープン。施設の名称を「丹後・知恵のものづくりパーク」に決定。

所在地	京都府京丹後市峰山町荒山225
敷地面積	35,466.22 m <sup>2</sup>
建物延べ面積	10,933.50 m <sup>2</sup>

### 試験・検査機器の整備

企業立地促進法に基づき国の同意を得た「基本計画」(京都府京丹後地域)の実現を図るため、国の地域企業立地促進等共用施設整備費補助金及び府、京丹後市の支援を受けて試作・検査機器(30機種)を、丹後・知恵のものづくりパーク内に整備し、地域の産業技術活性化や企業立地の促進を図ることとした。

### 「丹後・知恵のものづくりパーク」での人材育成事業

北部地域の機械金属加工業及び繊維工業における人材を育成するため、地域企業立地促進等事業費補助金を活用して、基礎的技術を備えた人材育成、生産現場を牽引す

るリーダーシップとマネジメント力を備えた管理者の育成、企業誘致のインセンティブとなり既存産業の更なる成長発展を支える開発・設計力を備えた人材育成等を実施した。

その他、京都府織物・機械金属振興センター等と連携して、経営・技術の両面に及び研修を実施した。

講座種類	講座数	延べ受講者数
技術系研修	28講座	3,466名
経営系研修	8講座	600名
合計	36講座	4,066名

### (5) 商業の活性化支援

情報誌「まいんどKyoto」の年2回の発行、ビデオの貸し出し、空き店舗情報の提供、マーケティングを重点とする経営活性化セミナーを開催するとともに、意欲的商業者グループや新規開業者を支援した。

#### ア 情報誌「まいんどKyoto」の発行(10月・2月の年2回、3,600部/回)(再掲)

あきんど講座等の講演要旨、繁盛店レポート(繁盛店の秘訣)、チャレンジ精神あふれる商店街や商業者グループレポート、京の老舗レポートを紹介する情報誌として発行。

#### イ ビデオライブラリーの運用(財団所有貸出用テープ2,100本)(再掲)

平成20年4月～平成21年3月の貸出実績 1,357本(1,314本)

#### ウ 小売商業者に対する情報提供事業

あきんど講座(セミナー開催:5回)

京都府各広域振興局や商工会議所、商工会等と連携し、経営セミナー、実技講習等を開催。

開催日	内容・テーマ等	参加者
7月16日 宇治商工会議所	<講演会> テーマ：「風船からふくらむビジネスのカタチ」 講師：加藤 勝彦 氏（経営者）	26名
9月15日 与謝野町商工会	<講演会> テーマ：「IT技術で販売促進」 講師：加藤 忠宏 氏（コンサルタント・中小企業診断士）	27名
10月17日 井手町商工会館	<講演会> テーマ：「対話から生まれる心地よい空間」 講師：中村 真由美 氏（経営者）	25名
1月22日 南丹市国際交流会館	<講演会> テーマ：「自産自消 ～消費者の食意識最前線～」 講師：西辻 一真 氏（経営者）	48名
3月23日 与謝野町商工会	<講演会> テーマ：「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし。」 講師：青木 慎一郎 氏（中小企業診断士）	25名
合計		151名

京の空き店舗情報及びセミナー情報の提供

毎月末に更新、毎月平均260件をホームページ（PDF）に掲出。

<http://www.joho-kyoto.or.jp/~retail/>

地域商業チャレンジ支援事業のホームページを開設

広く地域商業チャレンジ支援事業の周知と円滑な運営を図るためホームページを開設。<http://www.joho-kyoto.or.jp/~challenge/>

## エ 商店街等活性化助成の実施

中心市街地商業活性化推進事業

中心市街地の活性化に取り組む「国の基本計画認定を受けた地域の中心市街地活性化協議会の構成員等」で組織しようとする事業者団体に助成。

助成事業名	件数	助成額
コンセンサス形成事業	1	800千円
計	1	800千円

意欲的商業者グループ支援事業

商店街内の先進的な小売商業の個店グループ等が取り組む意欲的商業者グループに助成。

助成事業名	件数	助成額
魅力ある店舗づくり事業	1	400千円
観光商業ビジネス実践事業	2	600千円
商店街集客イベント・地域連携イベント開催事業	7	2,800千円
計	10	3,800千円

## オ 新規開業者等総合支援事業

商店街等における空き店舗の解消と小売商業の振興を図るため、商店街団体等と連携して専門家アドバイスやセミナー、チャレンジショップ事業等を行い、新規開業希望者等の開業及び第二創業を総合的にサポートした。

### チャレンジショップ事業の実施

京都府及び宇治橋通商店街振興組合等と連携して、商店街の空き店舗を活用し、新規開業希望者（公募）のチャレンジショップを開設。

実施期間	チャレンジショップ入居者	備 考
10月～12月	リラクゼーションサロン、婦人アパレル、銀製アクセサリ、宗圓香、京友禅はぎれ・反物、呉服・組帯、手作り雑貨、紋紙製品の販売など8者	宇治橋通り商店街「ギャラリー宇治橋」 入居期間は、2日～8日 営業日1日につき1,000円（光熱水費等相当額）家賃無料

### 起業家グループ「Kyoto eggs」公開セミナーの共催

10月11日 13:15～18:00 こどもみらい館（京都市中京区）

起業家グループ「Kyoto eggs」と共催で、「高齢化社会・人口減に対応した新しい都市型自治組織の形成をめざして」の講演（高松丸亀町商店街理事長 古川康造氏）を実施。その後、4氏によるパネルディスカッションを実施。参加者70名。

### 新規開業者支援セミナーの開催

実施日	内 容	備 考
3月26日 京都府産業支援センター 13:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「新規開業者への応援メッセージ」 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 常務取締役 木村美都 氏</li> <li>・新規開業者等の体験事例紹介 株式会社市文字屋與三郎 代表取締役 森本千恵美 氏 京都おふぶ茶苑合同会社 副代表 松本靖治 氏 平安装束体験所 代表 福呂一榮 氏</li> </ul>	新規開業者等への応援メッセージ講演の後、3氏による体験事例発表を実施。参加者60名

### 新規開業者等総合支援事業専門家個別相談

新規開業等の希望者に対して、専門家による個別相談を実施。

- ・実施回数延13回、相談者数7名

## 2 「足元を固める」= 中小企業が社内を見直し経営力を向上させるために

### (1) 人材育成・事業承継支援、京都経営品質協議会の運営支援

起業家セミナーの開催、中小企業新規採用社員の合同研修会、北部中小企業管理者研修等を継続して実施した。

また、京都経営品質協議会の活動を支援し、府内中小企業の卓越した経営の実現のために、経営品質セミナー、セルフアセッサー養成研修、基礎講座等を開催した。

#### ア 起業家セミナーの開催

参加者40名( 36名、本セミナー修了者で希望者に、専門家による個別相談を実施)

開講日	内 容	講 師
10月25日	基調講演(起業成功の原動力は「知恵」と「つながり」！)	増田 紀彦氏(起業支援ネットワーク NICE チーフプロデューサー)
	ビジネスゲーム体験実習	バトルクレイン・プロジェクト
11月 1日	パネルディスカッション	井上 忠男氏(Kyoto eggs 代表) 他
	会計・税務・会社設立の基礎知識	福島 重典氏(税理士)
	ビジネスプラン策定の前に	米田 明氏(コンサルタント)
11月 8日	経営戦略とマーケティング	米田 明氏(コンサルタント)
	プレゼンの仕方	
	知的財産権	小林 良平氏(特許事務所所長)
11月15日	I S O	杉浦 紀昭氏(コンサルタント)
	ビジネスプラン	福島 重典氏(税理士)
	プレゼンの仕方	
11月22日	創業者の広報・宣伝術	松尾 裕司氏(コンサルタント)
	Web戦略	仲 博司氏(会社代表)
11月29日	リーダーシップとコミュニケーション	藤井 美保代氏(コンサルタント)
	起業プレゼンテーション・講評	バトルクレイン・プロジェクト
12月 6日	ビジネスゲーム体験実習	バトルクレイン・プロジェクト
	総括	

参加者アンケート結果 非常に参考になった・参考になった 100%

#### イ 人材研修事業(人づくり塾)の実施

中小企業に対する新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、中堅社員研修、事業承継研修等の実施。

開催日	講習名	受講者数
4月3日～4日 4月8日～9日	新入社員研修 3クラス (対象:新入社員及び入社3年目までの社員)	51名
6月19日～20日	中堅社員研修 (対象:中堅社員～管理職レベル)	10名
11月27日～28日	中堅社員研修 (対象:中堅社員～管理職レベル)	13名
2月23日～24日	中堅社員研修 (対象:中堅社員～管理職レベル)	8名
2月25日	管理者研修 (対象:管理職～取締役レベル)	9名
1月19日～20日	新入社員フォローアップ研修(対象:新入社員)	8名
8月22日、29日	事業承継研修 京都市内	25名
2月6日、13日	事業承継研修 京都市内	12名
3月18日	事業承継研修 宇治市内	15名
合計		151名 (161名)

受講者アンケート結果 大変満足・満足 86.2%

#### ウ 北部中小企業管理者研修の実施

受講者19名

開催日	内容	講師
10月6日、17日、 28日、11月10日、 17日、27日、 12月8日	「改善の進め方」「リーダーとしての管理手法の使い方」「リーダーとしてのコミュニケーション能力アップ」「リーダーとしての部下育成・コーチング」「リーダーとしてのグループのまとめ方」 他	株式会社松下電工創研 森本 上席講師 柴田 上席コンサルタント
合計		

#### エ (独) 中小企業基盤整備機構受託講習会の実施

財務会計に関する講習の受託実施((財)全国中小企業情報化促進センターと共催)。

開催日	講習名	受講者数
12月3日	中小企業会計啓発・普及セミナー	24名
合計		24名

#### オ 若者と中小企業とのネットワーク構築事業の実施

中小企業の人材確保と若者の就職を支援するため、経済産業省(京都経営者協会経由)から受託し、中小企業の採用力向上のための研修や、若者と中小企業との出会いの場の創出事業、中小企業の魅力発信事業、京都大学高度専門人材マッチング事業を実施。

< 中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー >

区 分	開 催 日	講 師	企業数
京都市内 コース	第1回 6月24日 7月8日、22日	< 講師 > 小島 一夫 氏(ケイズ・オフィス) 安倍 泰生 氏(安倍マネジメントサポ ート) 真鍋 陽一郎 氏(YMマネジメントオフ イス)野邑 コーディネーター(京都ジョブパーク)	9社
	第2回 9月16日、30日 10月14日		5社
京都府南部コース	9月18日 10月2日、16日		6社
京都府北部コース	6月26日 7月10日、24日		6社
合 計			26社

< 経営革新応援セミナー >

開催日	内 容	講 師	参加者
3月18日	第1部 セミナー 第2部 個別相談会	小島 一夫 氏(ケイズ・オフィス) 人見 康裕 氏(株式会社ヒトミ)	20名

受講者アンケート結果 大変満足・満足 83.3%

カ 貿易セミナー、貿易実務講座

「海外ビジネスチャレンジネットワーク」(ジェトロ京都情報デスク)は貿易セミナー、貿易実務講座を次のとおり開催した。

開催日	内 容	講 師	参加者
5月9日、14日、 23日	貿易実務講座 (3回シリーズ)	勝田 英紀 氏 ジェトロ認定貿易アドバイザー	延べ 135名
10月7日	貿易・投資セミナー&個別相 談会「JODCが海外事業の 展開と現地での人材育成を 支援」	葉 恒二 氏(中小企業診断士) 中村比呂志 氏((財)海外貿易 開発協会) 他	24名
10月23日	貿易・投資セミナー「ロシア ~今後のビジネスチャンス」	島田憲成 氏(ジェトロ海外調 査部) 白鳥節郎 氏(ジェトロアドバ イザー)	53名
1月22日	貿易・投資セミナー「世界経 済減速下におけるインドシ ナビジネス」	竹村伸生 氏(ジェトロアドバ イザー) 山岸朱美 氏(税理士法人プラ イスウォーターハウスパーク ス)	21名
2月6日	舞鶴・中国セミナー「中国を 中心とした対岸諸国の経済 の動き」	中井邦尚 氏(ジェトロ海外調 査部)	37名
2月20日	国際化セミナー「オバマ新政 権の通商・経済政策と今後の 日米関係」	木内 恵 氏(月刊ジェトロ編 集長)	55名
合 計			325名

受講者アンケート結果 満足・やや満足 97.5%

## キ 京都経営品質協議会の運営支援

平成17年度に発足した京都発の「卓越した経営」の実現に向けての「京都経営品質協議会」を運営し、経営品質向上プログラムの普及・啓発、アセッサーの育成などを行った。

### 京都経営品質協議会

- ・ 設立年月日：平成17年9月21日
- ・ 会員数（平成21年3月末現在）：90社（者）【会員81（うち中小・個人61）  
/ 特別会員9】
- ・ 事務局：京都府、京都商工会議所、（社）京都工業会、（財）京都産業21

### 京都経営品質協議会の運営

#### < 幹事会・運営委員会の開催 >

名 称	開 催 日	参 加	会 場
第1回運営委員会	4月9日	17名	京都府産業支援センター会議室
第2回運営委員会	6月11日	17名	
第3回運営委員会	8月6日	15名	
第4回運営委員会	10月14日	13名	
第5回運営委員会	12月9日	7名	
第6回運営委員会	2月10日	13名	
定例幹事会	3月11日	27名	平安会館

#### < 各種講座等の開催 >

名 称	開 催 日	会 場	講師等	参加者
第1回経営品質入門オープンセミナー	5月9日	ハートピア京都	大久保 寛司氏 人と経営研究所所長	183名
第2回経営品質入門オープンセミナー	6月27日	キャンパスプラザ京都	玉木 洋氏 福井キヤノン事務機 (株)代表取締役社長	148名
第3回経営品質入門オープンセミナー (京都フォーラム)	9月12日	平安会館	横田 英毅氏 ネットヨタ南国(株) 代表取締役会長 畑 正高氏 (株)松栄堂代表取締役 社長 松山大耕氏 妙心寺塔頭退蔵院 副住職 森山祐輔氏 京都経営品質協議会 参与	講演 187名 交流会 81名
第4回経営品質入門オープンセミナー	11月7日	メルパルク京都	藻谷 浩介氏 日本政策投資銀行地 域振興部参事役	51名
第5回経営品質入門オープンセミナー	2月3日	メルパルク京都	宮端 清次氏 はとバス元社長	145名
経営品質入門講座 (前期コース)	7月3日、24日、 8月7日、 21日、28日	京都府産業支援センター	森山 祐輔氏 (株)ふわふわスペース研究 所代表取締役社長他4名	延べ 65名

経営品質入門講座 (後期コース)	11月7日、 27日、12月 11日、21月 15日、21日	京都府産業支 援センター	森山 祐輔 氏 (株)ふわふわスペース研究 所代表取締役社長 他 4 名	延べ 55 名
管理者のためのコー チング研修	6月16日	京都府産業支 援センター	井上 泰世 氏 国際コーチ連盟(ICF) 認定プロフェッショナル・ コーチ	9名
3S改善支援講座	7月31日	京都府産業支 援センター	古芝 保治 氏 牧岡合金工具(株)代表 取締役社長	14名
セルフアセッサーブ ラッシュアップセミ ナー	6月7日	京都府産業支 援センター	白井 信行 氏 経営品質協議会各種 研修講師	14名
エクセレント企業調 査	11月5日	伊那食品工業 (株)	塚越 寛 氏 伊那食品工業(株)代 表取締役会長	38名
人材育成プログラム	経営革新の基礎 7月14日	京都テルサ	長友 隆司 氏 経営品質協議会イン ストラクター	16名
	経営評価の基礎 9月19日、 26日、10月 3日	京都テルサ	田村 均 氏 経営品質協議会イン ストラクター	19名
	セルフアセスメント 11月19日 ~21日	京都テルサ	森岡 亮一 氏 経営品質協議会イン ストラクター	18名
合 計				1,043名

京都経営品質協議会ホームページの運営

平成18年5月から独自ホームページを運営 (<http://www.kyo-quality.jp/>)

## ク ビジネスモデルの創出事業

京都商工会議所による「京都ビジネスモデル創出事業」の活動を支援

学生起業相談会の運営支援(4大学)

ビジネスプランコンテスト開催(2回、認定5件)及び認定企業支援

## (2) 情報活用能力の向上支援、生産等のIT化(EDI)の支援

インターネットによるアンケート結果に基づき、事務系のアプリケーション活用講座、WEBサイト作成講座等を実施した。

また、試作分野に新規参入した伝統産業系グループなどの情報活用能力の向上を支援した。

情報化プラザ事業によるセミナー等の開催によりSaaS(ソフトウェアアズアサービス)による生産のIT化を支援するとともに、京都府の9月補正事業において、企業グループによるEDI(電子データ交換システム)活用普及事業を実施し、府内2グループへの導入を助成した。

EDIの開発と成果普及について、11月に(財)全国中小企業情報化促進センターが

ら、情報化優良企業表彰において最優秀企業賞を受賞した小規模製造業 E D I 普及協議会の田中精工株式会社とともに、支援機関として当財団が最優秀サポート賞である中小企業庁長官表彰を受けた。

また、本年 2 月には、経済産業省主催の中小企業 I T 経営力大賞 2 0 0 9 表彰において、応募 2 7 6 件から田中精工(株)が「大賞：経済産業大臣賞」を受賞した。

#### 中小企業の経営者・情報化推進担当者に対する業務改善・経営革新に関するセミナーの開催

開催日	テーマ	講師	受講者
7月17日	I T 経営セミナー	坂田 岳史 氏(有償コンサルティング 代表取締役) 坂本 栄造 氏(田中精工(株)取締役管理部長) 敦賀 伸吾 氏(株)ツルガ 代表取締役社長	32 名
9月10日	SaaS セミナー 2008 経営革新 SaaS を学ぶ	小久保 弘 氏(NPO 法人 IT コーディネータ京都) 津田 邦和 氏(ASPIC 常務理事技術部会長) 根岸 敦之 氏(MIJS 事務局長)	30 名
9月24日	SaaS セミナー 2008 最新 I T 技術 「SaaS・ASP 活用」 と I T 経営の実践	中村 久吉 氏 NPO 法人 IT コーディネータ京都理事長 杉村 麻記子 氏 NPO 法人 IT コーディネータ京都副会長	27 名
11月21日	SaaS 利活用研究会 「PaaS としてのアプリケーション活用」	鹿嶋 慎吾 氏(株)セルフォース・システム 小久保 弘 氏(NPO 法人 IT コーディネータ京都)	12 名
12月19日	SaaS 利活用研究会 「利活用企業からの報告」	笠川 路人 氏(シジ・マーケティング(株)) 山下 一幸 氏(株)シーネット) 高橋 義雄 氏(有嘉納マネジメント) 小久保 弘 氏(NPO 法人 IT コーディネータ京都)	24 名
2月24日	SaaS 利活用研究会 「J-SaaS 普及研究会～J-SaaS 活用に向けて」	小久保 弘 氏(NPO 法人 IT コーディネータ京都) 坂本 恒之 氏(株)スワイワークス代表取締役) 楠田 大輔 氏(クオリティ(株)) 小川 光男 氏(株)ネオジャパン)	35 名
合計			160 名

アンケート結果 大変参考になった・参考になった 88.9%

#### 府内中小企業の従業員に対する実用 I T 研修の実施

研修名	開催日	参加者	
WEB 系	ホームページ作成講座	7月29日、30日	10 名
	HTML/CSS 講座	8月5日	13 名
	画像処理講座	8月26日、27日	7 名
	Flash 入門講座	9月16日、17日、18日	5 名
人材育成系	社内 IT 化推進リーダ育成講座	11月5日、12日、19日、26日、 12月10日、17日、1月21日、 1月28日、2月4日	7 名
合計		42 名	

アンケート結果 良い・まあまあ良い 85.6%

## 関西IT経営応援隊事業及び関連研修会

(財)関西情報産業活性化センターが実施する関西IT経営応援隊事業を新たに受託し、関西中堅・中小企業のIT化を推進するプロジェクトの一環として、セミナー等を開催

開催日	テーマ	講師	受講者
7月17日	IT経営セミナー (再掲)	坂田 岳史 氏 ((有)イコパティンク 代表取締役) 坂本 栄造 氏 (田中精工(株)取締役管理部長) 敦賀 伸吾 氏 (株)ツルガ 代表取締役社長)	32名
8月28日	京都 SaaS 普及研究会 全5回開催	坂田 岳史 氏 ((有)イコパティンク 代表取締役)	13名
9月1日 ~30日	IT経営診断 募集定員:5社	坂田 岳史 氏 ((有)イコパティンク 代表取締役)	5社
9月19日~ 12月26日	IT経営実践派遣 募集定員:5社	坂田 岳史 氏 ((有)イコパティンク 代表取締役)	3社
10月16日 ~1月20日	EDI普及ITC派遣 募集定員:5社	坂田 岳史 氏 ((有)イコパティンク 代表取締役)	5社
合計			45名,13社

## 広域連携ネットワーク整備事業

「京都デジタル疎水ネットワーク」接続サービス等の提供(18企業・団体)

参考 18社 京都府、西陣IT路地、社団法人京都府観光連盟、NPO 法人地球デザインスクール、社会福祉法人市原寮、財団法人京都ゼミナールハウス、和束町役場、福知山市役所、木津川市役所、井手町役場、笠置町役場、南山城村役場、舞鶴商工会議所、京都府丹後広域振興局、京都学園中学高等学校、京都聖カタリナ女子高等学校、学校法人ヴィアートル学園(洛星中学校、高等学校)、京都学園中学高等学校

## (3) 設備貸与による生産技術の向上と資金調達円滑化の促進

ともすれば設備投資意欲が減退する環境下ではあるが、中小企業の新しい生産能力の獲得や生産性向上のために、設備貸与・リース事業の活用について、そのメリットをPRしながら促進した。

平成20年度は厳しい不況下でもあり、4億2千万円の実績であった。

### 設備投資の支援

小規模企業者等への設備貸与の実施。

< 決定状況 >

(単位:千円)

区分	平成21年3月末実績		平成20年3月末実績	
	件数	金額	件数	金額
割賦	15	206,419	28	386,665
リース	11	214,081	15	229,035
計	26	420,500	42	615,700

#### (4) 知的財産の活用支援、知恵の経営の促進

近畿経済産業局の補助事業である「知的財産戦略支援事業」を活用し、平成20年度は知的財産の戦略的活用を目指す2社に対する専門家のアドバイス等の支援を行った。

知的財産（特許）戦略への支援

知的財産（特許）の分析、活用、戦略策定などに関する専門家による指導

(株)イー・ピー・アイ（伏見区）(株)フェアリーエンジェル（北区）

支援期間 平成20年10月～平成21年3月

#### (5) 地域力連携拠点事業の取り組み（新規）

地域力連携拠点事業

近畿経済産業局が公募した地域力連携拠点に採択され、一部を京都府中小企業団体中央会に再委託し、5月30日から応援コーディネーターを財団に2名、中央会に1名を設置し、関係職員と連携して、経営革新、地域資源活用、農商工連携など新事業に取り組む事業者重点を置きながら、中小企業の幅広い課題に対して相談対応、支援等を行った。

5月30日から3月末までの中央会を含む実績は次のとおりである。

相談企業数 706件 相談延べ件数 986件

専門家派遣（無料） 13企業に37回派遣

セミナーの開催（地域資源活用セミナー2回、農商工連携セミナー2回）

京都府内の地域力連携拠点との連絡会 4回開催

#### (6) 地域資源活用支援事業の支援

平成19年6月に施行された「中小企業地域資源活用促進法」に基づき、地域の中小企業者に対する関連諸施策の広報・普及と相談対応、認定企業のフォローアップを行った。

事業計画の認定件数 京都府17件（近畿74件）

（参考）

京都府の地域資源 477件（農林水産物113件、鉱工業品135件、観光資源229件）

### 3 「次代に備える」 = 中小企業が強みを伸ばし成長分野に対応するために

#### (1) 試作、環境、ユビキタス等新京都ブランド産業分野、成長分野への進出支援

試作グループの全体会議運営による活性化を図るとともに、丹後試作隊等の新しいグループ形成を支援した。

京都産業エコ推進機構による環境産業支援について、環境産業等研究開発助成事業を行い、10社に対して補助を行った。

また、3年間の総務省受託事業であるIT系新規事業の京都「ユビキタス特区（観光立国）」事業に着手し、代表法人として進捗に責任を持ち運営に努めた。

メーカー等とのマッチングにより、リチウムイオン電池関連分野等新エネルギー市場への府内企業の参画を支援し、エコ通勤社会実験の環境省委託事業に府内企業グループが応募し採択されるなどの成果が生まれた。

#### ア 試作産業の推進

京都の優れた条件を生かした試作産業を確立するため、その中核となる京都試作センター(株)の運営をはじめ、試作グループの活動及び新規グループの形成を支援した。

##### 京都試作産業推進会議の開催

開催日	開催場所	内容
2月19日	パルスプラザ (5階会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都試作産業推進の取組状況について</li> <li>・ 京都試作センター株式会社の状況について</li> <li>・ 今後の取組について</li> <li>・ その他</li> </ul> <議長：石田 明氏（財団理事長）>

##### 試作パートナー企業グループの育成

グループ名	企業数	試作分野
京都試作ネット	19社	機械金属加工
京都でんき試作ねっと	8社	電気関係
アルフォース	9社	アルミ加工
京都せんい試作ねっと	5社	繊維・縫製加工関係
京都制御ソフト工場	8社	制御システム関係
北京都大物試作ネットワーク	12社	大型機械加工、プラント
京都伝統工芸試作ねっと	11社	伝統工芸関係
洛中染織・新工芸試作-	4社	伝統工芸関係
丹後試作隊<平成20年11月設立>	10社	機械金属加工
合計 9グループ(8グループ)	86社 (70社)	

##### 試作グループ連絡会議の開催

京都試作産業プラットフォームを構成する試作グループ(9グループ)及び京都試作センター(株)による連絡会議を毎月1回開催し、各グループの受注状況やトピック

ス、課題等、試作受注に取り組む上で参考になる情報交換や展示会等への共同出展について調整を行うとともに、各グループによる連携を促進するための相互の工場見学会を企画運営（見学会等を5回開催）した。

## イ 新たなビジネスモデルを切り口とした販路開拓

事業名	開催日	開催場所	内 容	参加者
ドキュメンタリー —京都の職人	11月1日～ 12月8日	京都駅ビル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都伝統産業協働バンクのPR</li> <li>・テーマ 伝統工芸品や職人を身近に感じてもらう</li> <li>・パネル展（11月1日～12月8日、7階東広場横）</li> <li>・実演（11月28日～11月30日、イノメーション前） 京友染、京人形、京漆器、京表具、染色補正の実演（2品目1日）</li> </ul>	2,000名 3,000名
京都府東京経済人交流会における展示会	11月26日	椿山荘（東京）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員企業への京都試作プラットフォーム及び京都伝統産業協働バンクのPR</li> </ul>	100名
京都試作フォーラム2009 in 東京	2月6日	都道府県会館（東京）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演（神戸国際大学経済学部 教授中村智彦氏）</li> <li>・プレゼンテーション（京都試作センター(株)及び各試作グループの特長等）</li> <li>・特別講演（日本政策金融公庫 国民生活事業本部 特別参与児玉俊洋氏）</li> <li>・商談結果： 商談件数5件 名刺受取り枚数63枚</li> </ul>	70名
京都の職人による実演と工芸品の修理相談会	2月26日	目黒雅叙園（東京）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都伝統産業協働バンクのPR</li> <li>・京友禅、京人形、京繻、京漆器、京表具、染色補正の6品目の実演</li> <li>・工芸品の修理個別相談実施結果 相談件数4件 成立1件、商談中3件</li> </ul>	286名

## ウ 京都ユビキタス特区事業

総務省の委託事業として、京都を訪れる外国人観光客を対象に多機能翻訳機能を備えた携帯端末・位置検索機能つき携帯端末を利用した観光支援サービス構築のための実証実験を実施

< 外国人観光市場調査委員会の開催 >

開催日	開催場所	内容・テーマ等
9月22日	メルパルク 京都	< 講演会 > テーマ：「ビジット・ジャパン・キャンペーンについて」 講師：吉田 隆 氏（日本政府観光局企画本部次長） < 委員会 > 議 事：訪日外国人観光客の現状と課題の把握 京都ユキタス特区事業の概要説明 訪日外国人観光客市場調査の概要説明 委 員：31名
12月15日	京都テルサ	< 委員会 > 内 容：活動状況報告 調査結果中間とりまとめに対する検討 出 席：委員 22名
2月13日	メルパルク 京都	< 委員会 > 内 容：多言語翻訳・ガイド端末サービスのご紹介 動態調査（モバイル端末調査）より分析結果報告 市場調査 平成 20 年度報告書の総括 出 席：委員 22名

< 外国人観光コーパス委員会の開催 >

開催日	開催場所	内容・テーマ等
10月23日	京都テルサ	< 講演会 > テーマ：「コーパスを巡る取組みについて」 講師：鳥澤 健太郎 氏（情報通信研究機構 言語基盤グループ長） < 委員会 > 内 容：京都特区事業の概要説明 外国人観光コーパス委員会について コーパス収集フィールドワークの報告 委 員：12名
11月19日	東映太秦映画村	< 講演会 > テーマ：「映画のパラダイス鎖国とネット開国」 講師：海部 美知 氏（エコー・コンサルティング代表） < 委員会 > 内 容：コーパス収集フィールドワークの中間報告 外国人観光支援システムについて 委 員：10名
1月28日	東映太秦映画村	< 委員会 > 内 容：外国人観光支援システムの利用について 外国人観光支援システム体験 外国人観光支援システムの利用に関する意見交換 委 員：10名

< 成果発表会の開催 >

開催日	開催場所	内容・テーマ等
2月18日	東映太秦映画村	< 基調講演 > テーマ：「次世代通信が拓く地域産業の活性化」 講師：藤咲 友宏氏（株式会社ウイルコム執行役員） < 成果発表 > 内 容：外国人観光客市場調査について 多言語翻訳・案内端末について < 成果発表ディスカッション > 内 容：平成 20 年度事業の評価と今後の事業展開 < デモンストラレーション > 内 容：市場調査用携帯端末およびそのサービスモデル 多言語翻訳・案内端末およびそのサービスモデル 参加者：102名

<ウェブサイトの開設>

ウェブサイト (<http://www.kyoto-omotenashi.net/>) を開設し、日本語、英語のコンテンツを構築し、運営した。

(2) 技術顕彰、産学公連携による製品開発助成、高度人材確保支援等ものづくり技術の向上支援

京都府中小企業技術センターと連携して府内の製品開発型中小企業の現地訪問等を行い、京都中小企業技術大賞、優秀技術賞、技術者賞の選定、顕彰、独立行政法人科学技術振興機構などの実施する産学公連携による研究開発への連携構築コーディネーション、ポストドクターの中小企業による人材確保への支援等を実施し、ものづくり技術及び人材の一層の向上に取り組んだ。

また、次代を担う若者の科学技術への関心を高めるため、引き続き府内工業高校ロボットコンテストの開催を支援した。

ア 技術顕彰(京都中小企業技術大賞等)の実施

技術や製品の開発等に成果を上げ、京都産業に貢献した中小企業及び技術者を2月19日に開催した「京都“ぎじゅつ”フォーラム2009」において表彰

表彰区分	企業名	表彰対象となった開発技術・製品
京都中小企業技術大賞	日東薬品工業(株) <向日市>	長期間安定する乳酸菌の製造技術
京都中小企業優秀技術賞	(株)秋江 <京都市>	色創成、多層、多重織技術
	(株)金山精機製作所 <京都市>	大電力モーター制御用半導体外装部品
	京セミ(株) <京都市>	スフェラー(小型電源用球状太陽電池)
	三和化工(株) <京都市>	サンペルカ熱圧縮成形品
	嶋田プレシジョン(株) <京都市>	LED回折格子導光板
京都中小企業優秀技術者賞	開発に直接携わった技術者23名	

イ 研究開発の支援

環境産業等産学公研究開発支援事業の採択(平成19年度、平成20年度採択)

「環境産業等産学公研究開発支援事業」の公募の説明会を京都市内、けいはんな、北部の3ヶ所で開催した。平成20年度は11企業の応募があり、「ベンチャー事業可能性評価委員会」で6件採択

(平成19年度採択分)

提案企業	テーマ	連携研究機関
(株)エックスレイプレシジョン(京都市)	可搬型X線分析CT装置に関する研究開発	京都大学、筑波大学
(株)城南電器工業所(宇治市)	動植物性廃油を環境に優しいバイオ燃料へ再生利用する新規固体触媒法反応装置に関する研究開発	同志社大学
スキューズ(株)(京都市)	エアーマッスルを用いた高機能義手実用化に関する研究開発	同志社大学
(株)プラムテック(城陽市)	大気中の温室効果ガス計測新技術の開発	京都大学、名古屋大学

(注) 支援期間2カ年(19年度・20年度)、支援助成額3千万円以内

(平成20年度採択分：環境関連技術分野等)

提案企業	テーマ	連携研究機関
朝日レントゲン工業(株) (京都市)	骨梁形態測定機能付歯科用パノラマX線装置に関する研究開発	広島大学
コフロック(株)(京田辺市)	資源再利用を目的とした気体分離材の研究開発	京都学園大学
(株)ミツワ製作所 (木津川市)	繊維系廃棄物の簡易ペレット化装置開発	京都工芸繊維大学

(注) 支援期間2カ年(20年度・21年度) 支援助成額3千万円以内

(平成20年度採択分：ユビキタス関連分野)

提案企業	テーマ	連携研究機関
NPO 法人アイ・コラボレーション(草津市)	観光都市京都の可能性を高める「ユビキタスバリア&バリアフリーマップ」に関する実証実験	京都府立医科大学
(株)ゴビ(京都市)	高齢者の生活意欲推定のための運動量収集に関する実証実験	立命館大学、滋賀医科大学
(株)とめ研究所(京都市)	ユーザ参加型3Dアニメーションデータベースの実証実験	独立行政法人情報通信研究機構

(注) 支援期間1カ年(20年度) 支援助成額1千万円以内

#### 地域イノベーション創出総合支援事業

平成20年度地域イノベーション創出総合支援事業「重点地域研究開発推進プログラム」における「地域ニーズ即応型」に19件応募があり、2件採択(独)科学技術振興機構)

提案企業	テーマ	連携研究機関
尾池工業(株)(京都市)	超臨界流体を利用したナノプリント技術の開発	京都工芸繊維大学
オパーツ(株)(精華町)	多孔体金属箔ヒーターによる空中飛散細菌の焼却滅菌装置の開発	京都府立医科大学

#### ウ 連携・交流の推進

##### 大学シーズ紹介・利用拡大

開講日	内 容
10月29日 京都全日空ホテル	第12回異業種京都まつり 11大学参加 産学連携ゾーン、大学シーズプレゼン、産学交流サロン開催 大学シーズプレゼン ・京都工芸繊維大学 「組み換えDNAとタンパク質工学技術を用いたタンパク質解析と環境DNA分析」 ・京都産業大学 「研究シーズ紹介」 ・龍谷大学 「龍谷大学における農商工連携の事例について」
2月19日 ~20日 京都府総合見本市会館	きょうと連携交流ひろば2009 出展：54企業・団体・大学等 金融機関ゾーン：6、企業連携ゾーン：12、産学連携ゾーン：22 新連携・地域資源等ゾーン：14 プレゼンテーション 19年度と20年度の京都府環境産業等産学公研究開発事業の成果報告と企業連携グループが取り組んでいる内容など、現在進行している各種連携活動の状況を報告。

## エ 産学・企業間連携ニーズ調査の実施

コア技術を有する中小企業の大学や企業等との連携・協力による新製品・新技術開発などを支援するため、平成19年度に実施した連携ニーズ調査結果を参考に、経営課題、産学・企業間連携志向、ポストク採用意向などの詳細な情報を収集するため引き続き企業訪問を行い、データベース化を進めた。

データベース作成（CISシステムで共有）

訪問企業情報を共有するため報告会を開催（7月10日）

調査対象	回答数	訪問数（府内企業のみ）
236社	163社	129社

## オ 京都大学高度専門人材マッチング事業（イノベティブ中小企業との交流セミナー）

ポストドクター（博士研究員）、大学院生及び若手研究者等と高い専門知識を持った人材を求める研究開発型地元中小企業とのマッチングの場、「イノベティブ中小企業との交流セミナー」を開催。

区分	開催日	参加企業	参加研究者等	参加研究者アンケート結果(%)	
				大変参考になった	参考になった
第1回	1月17日	5社	23名	55.0	45.0
第2回	3月7日	7社	9名	55.6	44.4

## カ 工業系高校への支援

### 工業高校等実践教育導入事業

北部地域産業の担い手を育成するため、府立工業高校、宮津高校、峰山高校において、「工業高校等実践教育導入事業」に取り組み、企業における実習、学校で企業経営者・技術者による授業を受けることにより、高校と地元企業がお互いの認識を深めながら連携することにより、新たなものづくり人材の育成の礎を築いた。

### 工業系高等学校が行う京都府高等学校ロボット大会を支援

名称	平成20年度 第13回京都府高等学校ロボット大会
主催	京都府公立高等学校長会工業科部会
共催	財団法人京都産業21
日時	平成20年9月27日(土) 13:00～16:30
会場	京都府立工業高校（福知山市）
参加校 (出場団体数)	府立工業高校（7台） 府立田辺高校（2台） 府立峰山高校（1台） 京都市立伏見工業高校（3台） 京都市立洛陽工業高校（4台）
結果	優勝 京都市立洛陽工業高校（定時制）「20万馬力」 準優勝 府立田辺高校「楔」 第三位 京都市立洛陽工業高校（定時制）「10万馬力」 敢闘賞 府立工業高校「メカトロ京」 技能賞 府立工業高校「激震」

## キ 京都企業創造ファンドの運営協力

運営主体：京都ものづくりVB育成投資事業有限責任組合（無限責任社員：JAIC、ファンド額：23億円）

対象ベンチャー企業の選定にアドバイザリーボードメンバーとして参画

対象ベンチャー企業の選定にアドバイザリーボードメンバーとして参画

・重点投資 9企業、一般投資 17企業

## ク ウェルネス産業の創出支援

京都府内の大学や京都府、財団等の行政・支援機関による「京都ウェルネス産業コンソーシアム」の活動を支援

京都ウェルネス産業コンソーシアムの運営支援（14大学・機関）

ウェルネス産業振興事業の実施

- ・ ウェルネスベンチャー企業に対する専門家派遣事業の支援
- ・ ウェルネスベンチャーの事業化に向けた研究開発事業の支援

## （3）きょうと元気な地域づくり応援ファンドによる地域資源活用の支援（新規）

新たに造成した「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」（総額50億円）の運用益を活用し、地域力の再生につながる新しいビジネスを支援する助成制度を創設した。

平成20年9月に公募を行い、府内全域から108件の応募があった。新規事業であったが、地域資源活用ビジネスを対象とした大変期待の大きい事業となった。

平成20年度採択企業17社について、専門家による継続的なハンズオン支援事業（申請者に対する専門家による指導）を行っている。

### <事業説明会>

8月28日に京丹後市内、舞鶴市内、南丹市内及び宇治市内の4会場、8月29日に京都市内の1会場で開催。延べ105名参加。

### <助成事業の募集>

9月1日から30日まで京都府の各広域振興局及び財団で、計108件の申請を受付。

### <助成事業の採択>

4回の審査委員会で、103事業者からプレゼンを受け、17事業者を採択。助成総額は、29,000千円。

### <ハンズオン支援事業の実施>

9月30日までに8件の申請準備支援（専門家による指導）を実施。

3月31日までに25件の採択事業者支援を実施。

## （4）異業種交流等の企業間連携の推進

### ア 京都府異業種交流会連絡会議（49グループ）の運営支援

京都府異業種交流会連絡会議の事務局として、事業運営を支援するとともに、本年度は中小企業基盤整備機構近畿支部と連携して、農商工連携をテーマとした異業種京都まつりを開催するなど、企業間連携をはじめ、産学連携、農商工連携によるビジネ

スの推進を支援した。

< 講演と交流のつどい >

開催日	内 容	参加者
7月22日 京都全日空 ホテル	講演：「魅力があっても、伝わらなければ売れない！」 講師：川部 重臣氏（地域活性化プランナー・京都府商工会連 合会代表）	74名

< 第12回 異業種京都まつり >

開催日	内 容	参加者
10月29日 京都全日空ホ テル	テーブル交流会（77企業・大学・団体、88小間） 講演：「地域の農林水産品を生かした産業創造」 講師：木村修 氏（農事組合法人伊賀の里モクモク手づくり フファーム社長理事） パネルディスカッション 他	1,100名

出展者アンケート結果 満足・ほぼ満足 62.3%

< げんき交流 K Y O T O >

開催日	内 容	参加者
3月17日 京都ブライ トホテル	講演： テーマ：「サブプライムに負けるな。日本の中小企業の底力」 講師：橋本 久義氏（政策研究大学院大学 教授）	64名

イ 伝統産業協働バンクの運営支援（一部再掲）

伝統産業企業のイノベーションを促進するとともに、企業間連携の推進を支援するため平成19年度に創設した「伝統産業協働バンク」（参加91企業）について引き続き運営を支援した。また、その中の33企業が参加して修理に特化した企業グループ「京都職人修理ネット」を創設し、実演や相談会の開催、見本市への出展などを通じて工芸品の“お直し”という潜在的ニーズの掘り起こしを図った。

開催日	催 事 名	会 場
11月1日～12月8日	ドキュメンタリー京都の職人（写真展）	京都駅ビル7階
11月19日～22日	IFFT インテリア・ライフスタイル展（出展）	東京ビッグサイト
11月26日	東京経済人交流会（展示とプレゼン）	椿山荘
11月28日～30日	ドキュメンタリー京都の職人（実演）	京都駅ビル2階
2月19日～20日	京都ビジネスパートナー交流会（出展）	パルスプラザ
2月26日	いちげんさんおこしやす（実演と修理相談）	目黒雅叙園
3月3日～6日	JAPANSHOP2009展（出展）	東京ビッグサイト

ウ グループ活動への支援

京都産業21<sup>リング</sup>環の会（KSR）の活動支援

交流事業及び企業連携によるグループ活動を主な事業とするKSR(会員数213社)の運営を支援。平成20年度には、「知恵の経営報告書の作成」を目指す『知恵の会』が新たに発足した。

・ 活動のPR事業

「第12回異業種京都まつり」(平成20年10月29日(水))及び「京都ビジネス交流フェア2009/きょうと連携交流ひろば2009」(平成21年2月19日(木)～20日(金))にブースを出展した。

また、平成21年2月にホームページを全面リニューアルした。

(新URL <http://www.ksr-ring.jp>)

・ 交流事業

開催日	内 容	参加者
5月26日	ミニキラメキ交流サロン テーマ:「京料理と文化について」 講 師:榎木 伊太郎 氏(食物史学研究者 京料理えのき店主)	11名
6月20日	定期総会記念講演会 テーマ:「オンリーワン企業はここがちがいます!!」 講 師:中村智彦 氏(神戸国際大学教授)	96名
8月28日	ミニキラメキ交流サロン テーマ:会社見学と講演 講 師:山本昌作 氏(山本精工(株) 代表取締役 副社長)	25名
11月28日	北部キラメキ交流サロン <施設見学等> ・丹後・知恵のものづくりパーク <工場見学・講演会等> ・パナソニック フォト・ライティング久美浜(株) 講 師:「苦しい時こそ人材育成と現場改善を! 生産力向上の提案」 講 師:大谷泰清 氏(前パナソニック フォト・ライティング(株) 代表取締役)	26名
2月12日	キラメキ交流サロン パネルディスカッション「起業・使命の経営 未来を語る」 <パネリスト> ・竹田正俊 氏(株)クロスエフェクト 代表取締役) ・清水三希夫 氏(スキューズ(株) 代表取締役) ・山本昌作 氏(山本精工(株) 代表取締役 副社長) <コーディネーター> ・高野隆嗣 氏(株)地域計画建築研究所 第三計画部 部長)	35名

・ グループ活動

グループ名	活 動 概 要
最適モノづくりグループ	生産現場の実用的な製品である部品ピッキングシステムの開発と販売へ向けての活動に取り組んだ。
プロモーションサービスグループ	京都の小さい企業だからこそできる販売促進を研究し、実践している。
食の事業化グループ	「食」の在り方を考え、生産・加工・販売までの農の事業化を目指して活動している。第12回異業種京都まつり(10月29日開催)に、農商工連携関連の展示を行った。

北近畿ソーイングm a a f f工房	新商品開発に取り組む。繊維製品クリエイターのためのソリューション提供を目的に「京都せんい試作ネット」として試作品受注に取り組んでいる。
知恵の会	数値化できない知的資産を可視化して報告書にまとめる「知恵の経営」に取り組み、自社の企業価値の向上を図ることを目的として活動をしている。
若年者就労支援グループ	近年増えていると言われる「ひきこもりの若者」の就労支援に取り組んでいる。

### その他のグループ活動支援

「京・NBC（ニュービジネスサークル）」、「京都マネ - ジメント研究会」等企業グループに対して継続支援を行った。

## (5) 京都府元気印中小企業認定や経営革新計画承認等の計画的推進

平成20年度の元気印認定企業数は17件、(平成19年度～累計51件) 経営革新承認企業数は30件(平成12年1月～累計394件)であった。

今後とも元気な中小企業を計画的に発掘し、育成する必要がある。

これらの企業のうち、創業間もない企業についてはそのビジネスマッチングへのアドバイスが得られるビジネスモデル創出事業への応募を促進した。

### 経営革新計画の普及・推進

中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律(中小企業新事業活動促進法)の経営革新計画承認申請に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・審査の実施。

#### <相談・受付・調査等(中小企業新事業活動促進法関係)>

相談・指導	申請受付	調査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	審査会開催回数・案件数
47回 (49)	18件 (31)	30件 (38)	10回 (11)	11回・30件 (11回・38件)

( )は前年度

### 京都府元気印中小企業認定制度の普及・推進

京都府中小企業応援条例に基づく研究開発等事業計画の認定申請(京都府元気印中小企業認定制度)に関する相談・受付・調査・審査の実施。

#### <相談・受付・調査等(京都府中小企業応援条例関係)>

相談・指導	申請受付	調査	審査会開催回数・案件数
29回 (50)	13件 (21)	23件 (38)	6回・23件 (7回・37件)

( )は前年度

## (6) けいはんな、K I I C会員等企業グループ研究会の活動支援

けいはんな支所を拠点とした府南部エリアの企業支援として、けいはんなベンチャーソフト支援事業によるベンチャーインキュベーション入居企業の事業化に対する経営専

門家の派遣や交流会の開催を行うとともに、南部エリア広域フロンティア支援事業によって山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部など地域企業への産学公交流会、経営相談会などの支援を実施した。

また、KyooHoo?!、MFCA研究会、きょうとWEBショッパ研究会などK I I C（京都産業創造交流倶楽部）のメンバー企業による研究会活動を支援した。

## ア ベンチャー支援事業関連審査等の実施

学識経験者、ビジネス・スーパーバイザー、企業財務専門家、法律専門家、行政機関等で構成する「ベンチャー事業可能性評価委員会」（委員長：松波弘之京都大学名誉教授）を設置し、インキュベートルーム入居など関連する審査等を実施

< 審査等 >

開催日	審 議 内 容
6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けいはんなインキュベートルーム入居者選考</li> <li>・環境産業等産学公研究開発支援事業の審査</li> </ul>
8月21日	
9月 4日	
2月 9日	
2月13日	

< 平成 20 年度新規入居企業 9 企業( 12 企業): 3 月末現在 23 企業( 29 企業) >

企 業 名	研究開発テーマ	所在地
ネクステム(株)	高周波、電磁波暴露測定機器・システム開発	大阪市天王寺区
(株)CREV	最新 Web 対応、低コスト高信頼性サイト構築・支援	京都府木津川市
(株)フレアリンク	ネットワークシステム開発	京都府精華町
(株)ラムダビジョン	新規分光ユニット製品回路設計、営業	神奈川県横浜市
JAPAN BLUE(株)	薬液計量混合装置の開発・商品化	京都府八幡市
(株)ART-Sensetech	自動運転技能システムの研究開発	京都府精華町
(株)ART-Trec	音声認識・音声合成技術を用いたシステム開発	神奈川県川崎市
(株)テイ・テック	医療廃棄物処理プラント開発	奈良県奈良市
イーシーフロンティア	電気化学分析装置の開発	奈良県奈良市

## イ 南部フロンティア支援事業

京都府山城広域振興局・京都府中小企業技術センターけいはんな分室、けいはんな新産業創出・交流センター等と連携し、京都府南部地域を対象とした企業塾、交流会等を開催。

また、けいはんな地域・南部地域の企業約 100 社を訪問し企業ニーズの把握とアドバイスを行うとともに「京都環境ナノクラスターけいはんな分室」の事務局を分担し同事業の事業化推進に努めた。

< 企業塾「平成 20 年度山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部」の開催 >

京都府南部地域に立地するオンリーワン企業を目指す 5 社を選定し、経営アドバイザー等をまじえ、京都府中小企業応援条例による「元気印企業認定」を目指し、参加企業のビジネスプランのブラッシュアップを図った。

区 分	内 容	
審査会	9月9日	委員により応募企業の事業計画等を審査し参加企業を決定
第1回研究会	9月25日	倶楽部設立記念意見交換会・事業計画発表会 記念講演：「オンリーワンへの我が社の歩み」 講 師：石崎 義公 氏 (株)タカコ会長 講師を囲み参加5企業が意見交換 その後、参加5企業の事業計画概要を紹介
第2～5研究会	10月8、22日、11月5、20日	市場調査、新製品開発、販路拡大、資金調達等の各課題毎に各企業が事業計画を発表し、コーディネーター、参加企業、金融機関、事務局によるディスカッションの中で、参加企業が自社のビジネスプランをブラッシュアップ。 「元気印企業認定」の申請に向けての訓練を共同で行った。
最終研究会	12月3日	ブラッシュアップした事業計画を参加企業がプレゼン

< 展示フェア・セミナー・特許相談会の開催 >

開催日	内 容
8月22日	「特許個別相談会・電子出願説明会」 場所：けいはんなプラザ 相談対応：安藤順一特許事務所 弁理士 上村 喜永 氏 (社)発明協会京都支部 特許出願アドバイザー 佐藤 廣 氏 相談企業 3社
1月27日	「山城元気な企業フェア（講演とテーブル交流会）」 場所 けいはんなプラザ 講演「明日から始める業績向上法」 京都大学産学官連携センター 特認教授 児玉 充晴 氏 「様々な雇用形態と社会への活かし方」 (有)Koco 社長 大原 耕也 氏 ワンテーブル交流会40社等出展 参加者 約200名
2月21日	「京都府南部地域経営革新セミナー」 場所：精華町商工会館 講演「不況に打ち勝つ、攻めと守りの経営」 (株)アポロ総合経営 代表取締役 杉原 潔 氏 講演「経営革新昇任制度と承認企業に見る経営革新の支店」 岡原コンサルティング オフィス 代表 岡原 慶高 氏 参加者 10名
2月22日	「特許個別相談会・電子出願説明会」 場所：けいはんなプラザ 相談対応：京都北山特許事務所 弁理士 西村 竜平 氏 (社)発明協会京都支部 特許出願アドバイザー 佐藤 廣 氏 相談企業 3社
3月17日	「山城地域立地企業懇談会」 場所：私のしごと館 近年けいはんな地域に進出した企業と行政、支援機関との情報・意見交換会 7企業参加

<技術交流会>

開催日	内 容	参加者
7月10日	平成20年度第1回けいはんな技術交流会 場所：けいはんなプラザ、けいはんなベンチャービレッジ けいはんな地域進出企業ビジネスプレゼン (1) (株)加地けいはんなR&Dセンター (2) 高由金属(株) (3) 日本制御(株) (4) (株)広和工業 4企業の工場・研究所視察	48名
8月1日	平成20年度第1回同志社大学・けいはんな産学交流会 場所：同志社大学京田辺キャンパス 講演 「複合材料研究センターの事業活動」 同志社大学複合材料研究センター 副センター長 田中 達也 氏 「材料・製品開発のためのサ・ツール～熱弾性応力解析とその応用」 同志社大学理工学部教授 上之谷 敏之 氏 「セルロースを利用した新しいプラスチック強化の考え方」 同志社理工学部I初年 機械工学科 教授 大窪 和也 氏 「高強度カーボンファイバー添加ナノ複合材料の合成同時焼結」 同志社大学理工学部機能分子・生命科学科教授 廣田 健 氏 研究室見学会 交流懇談会	86名
12月1日	平成20年度第2回けいはんな技術交流会 場所：NTTコミュニケーション科学基礎研究所 講演 「NTTコミュニケーション科学基礎研究所の概要」 副所長 上田 修 氏 「言語処理、マイニング、センサ情報処理の研究紹介」 協創情報研究部長 中岩二 博己 氏 「映像や音楽を瞬時に特定するロバストメディア」 メディア情報研究部長 中沢 憲二 氏 研究室見学会 交流懇談会	31名
12月16日	平成20年度第2回同志社大学・けいはんな産学交流会(田辺キャンパス) 講演 「同志社大学の産学連携について・柔軟なロボットの開発」 理工学部教授 辻内 伸好 氏 「人間協調動作型パワーアシストロボットの開発」 生命医科学部専任講師 積際 徹 氏 「NPO法人同志社大学産官学連携支援ネットワーク紹介」 副理事長 五島 洋 氏 研究成果報告・見学	50名
3月4日	平成20年度第3回けいはんな技術交流会 場所：(株)イオンテクノセンター 講演 「イオンテクノセンターの事業展開について」 取締役 浅利 正敏 氏 クリンルーム等見学 参加企業によるプレゼンテーション 京都試作センター(株)、(有)ミルライトホ、(有)イダブルシステム	27名
合 計		242名

インキュベートルーム入居者に対する支援

- ・ 専門家派遣（10企業/23回）
- ・ 経営個別相談会（ビジネスプラン等、9回）
- ・ けいはんなベンチャーフォーラム（大阪市、2回） けいはんなビジネスメッセ・山城元気な企業フェア（精華町） 創援隊交流会・環境対応型新技術開発支援研究会（京都市）等での販売促進・ビジネス交流等を支援
- ・ 学研都市の研究機関・大学等との交流により産産連携、産学公連携の場を提供（5回）
- ・ 経済産業省・JST等補助金申請支援、政府系及び制度融資等融資斡旋支援、地元ベンチャーキャピタル等VCによる出資を促進、京都府中小企業応援条例による元気印企業・経営革新計画認定の申請支援
- ・ 「けいはんなビジネスモデルプレゼンテーション2008」（11月19日、KR P）を開催し、基調講演と選定した3企業の事業計画のプレゼンテーションを行いビジネスマッチングを推進。証券会社、VC、金融機関、IT関連企業、支援機関等約100名が参加
- ・ 入居企業・卒業企業等による自主的連携・交流グループ（約15社）「けいはんなラボコミュニティ」の立上げ（10月）支援、月例会にオブザーバーで参加、当財団の支援事業等を紹介。

入居企業のPR（技術、製品、ノウハウ等） 入居企業への情報提供等

- ・ メールマガジンによる補助金・経営等に関する情報提供（週2～3回）
- ・ 新聞、テレビ、行政の広報紙等を通じて、入居企業の技術・製品等をPR
- ・ けいはんなベンチャーセンターパンフ、「クリエイティブ京都M&T」等による企業紹介

けいはんなベンチャーセンターの運営について、京都府商工労働観光部、(株)けいはんな等と検討を行うと共にけいはんな新産業創出・交流センター、京都府中小企業技術センター等と効果的支援のあり方について協議を行った。

## （7）北部支援センターの取り組み（一部再掲）

試験・検査機器の整備

企業立地促進法に基づき国の同意を得た「基本計画」（京都府京丹後地域）の実現を図るため、国の地域企業立地促進等共用施設整備費補助金及び府、京丹後市の支援を受けて試作・検査機器（30機種）を、丹後・知恵のものづくりパーク内に整備し、地域の産業技術活性化や企業立地の促進を図ることとした。

「丹後・知恵のものづくりパーク」での人材育成事業

北部地域の機械金属加工業及び繊維工業における人材を育成するため、地域企業立地促進等事業費補助金を活用して、基礎的技術を備えた人材育成、生産現場を牽引するリーダーシップとマネジメント力を備えた管理者の育成、企業誘致のインセンティブとなり既存産業の更なる成長発展を支える開発・設計力を備えた人材育成等を実施

した。

その他、京都府織物・機械金属振興センター等と連携して、経営・技術の両面に及び研修を実施した。

講座種類	講座数	延べ受講者数
技術系研修	28講座	3,466名
経営系研修	8講座	600名
合計	36講座	4,066名

#### 北部中小企業管理者研修の実施

受講者19名

開催日	内 容	講 師
10月6日、17日、28日、11月10日、17日、27日、12月8日	「改善の進め方」「リーダーとしての管理手法の使い方」「リーダーとしてのコミュニケーション能力アップ」「リーダーとしての部下育成・コーチング」「リーダーとしてのグループのまとめ方」他	株式会社松下電工創研 森本 上席講師 柴田 上席コンサルタント
合計		

#### 工業高校等実践教育導入事業

北部地域産業の担い手を育成するため、府立工業高校、宮津高校、峰山高校において、「工業高校等実践教育導入事業」に取り組み、企業における実習、学校で企業経営者・技術者による授業を受けることにより、高校と地元企業がお互いの認識を深めながら連携することにより、新たなものづくり人材の育成の礎を築いた。

#### 中丹ものづくり活性化フェア

中丹地域のものづくり産業の活性化を図るためフェアを2回実施

開催日	テ ー マ	講 師	参加者
9月25日	グローバル化の中のものづくり コラボレーションによる新たな“モノ創り”のすすめ	辻 理 氏(サムコ(株)代表取締役) 佐藤 宏 氏((株)ニュービジネス起業研究所代表取締役)	65名
3月4日	ピンチをチャンスに変えるために今、何をすべきか	小島 一生 氏(ケイズ・オフィス(有)代表取締役)	45名
合計			110名

アンケート結果 大いに役立った・少し役立った 81.7%

#### 北部地域の産業動向・景況の調査

京都府織物・機械金属振興センターから移管を受け、北部地域機械金属業界の景況動向の調査を引き続き実施

区分	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第1回	平成20年3月末現在	財団登録企業 125企業	71企業	56.8
第2回	平成20年6月末現在		74企業	59.2
第3回	平成20年9月末現在		74企業	59.2
第4回	平成20年12月末現在		77企業	61.6

#### 丹後織物業の景況動向調査

京都府織物・機械金属振興センターから移管を受け、丹後織物業の景況動向調査を引き続き実施

区分	調査時期	調査対象	備考
第1回	平成20年6月	産地機業等 24社	訪問聞取方式
第2回	平成20年10月	産地機業等 22社	〃
第3回	平成21年2月	産地機業等 23社	〃

#### 室町・西陣和装市況調査

京都府織物・機械金属振興センターから移管を受け、引き続き京都和装市況調査を実施

区分	調査時期	調査対象	備考
第1回	平成20年10月	和装各種業態 6社	訪問聞取方式
第2回	平成21年2月	和装各種業態 7社	〃

### (8) K I I C 会員等企業グループ研究会の活動支援

#### グループ研究会活動

事業名	交流会名	内容・参加企業数など
研究会事業	きょうとマーケティング研究会	参加会員の経営・マーケティング戦略を事例に討議し、自社のマーケティング戦略のヒントを見つける研究会(18社)
	ライフサイエンス研究会	「環境」と「ライフサイエンス」をキーワードに商品開発を目指す研究会。現在、「岩盤浴スーツの販路開拓」と芍薬を活用した商品開発に取り組む(9社)
	Kyoohoo?!	京都伝統産業系企業を中心に新商品開発、新市場開拓を目指す研究会
	JFK・EUプロジェクト	海外で売れる「ものづくり」を目指し「新市場の開拓」と「京都ブランド」の開発を行っている研究会(参加企業:13社)。展示会としては、4月に開催されたフィレンツェ artigianato へ2回目の出展、8月にはニューヨークギフトフェアのメイン会場に単独ブースとしては初めて出展。 2009 冬の NYIGF (平成20年度地域資源活用新事業展開支援事業)にて、販路拡大を目指すため、Kyoohoo?!ブランドの商品を京都造形芸術大学との産学連携で行い、商品発表を行った。
	WAZAプロジェクト	海外に流出した伝統工芸品等の修繕・修復を行うプロジェクト(3社)として、米国ボストンにて工房を開設するため準備中。
	KANKO 研究会	魅力ある京都の産業や歴史などを研究し、京都に多くの人を呼び込むプランなどを検討する研究会(5社)を運営。

夢現の会	<p>情報収集・情報交換の場、ビジネスチャンス・ビジネスヒントをつかむ場として、ヒューマンネットワークの構築をめざす研究会（14社）本年度も産学連携を目指すため見学会・意見交換を実施した。</p> <p>結果、メンバー企業の田中石油(株)と京都学園大学バイオ環境学部と委託研究実施。また、尾池工業(株)と京都工芸繊維大学との産学連携による開発を JST の地域ニーズ即応型研究開発事業へ申請し採択された。</p>
きょうとWEBショップ研究会	<p>オンラインショップを運営して月商 500 万円を超えた経験がある、又は真剣に月商 500 万円を目指されている会員を対象とし、参加者全員がオンラインショップの現状、問題点、売上動向などの情報をオープンにし、問題・情報を共有化しながら一緒に考え実践する研究会（10社）</p>
3Dインターネットビジネス研究会	<p>セカンドライフに代表される3Dインターネットのビジネス活用を目指す研究会（40社・団体）</p> <p>研究会内に実証実験分科会を立ち上げ、セカンドライフ内にSIM設定した4つのエリア(プロモーション、コミュニティ、eコマース、エデュケーション)で実証実験を実施。1月28日のオープンシンポジウム(成果報告会)をもって閉会。</p>
京都MFC A研究会	<p>中小企業が、製造工程における原材料やエネルギーの無駄を低減し資源の有効活用を図ることで、コストダウンと環境負荷低減を同時に実現するため、「マテリアルフローコスト会計(MFCA)」を活用した企業活動における環境負荷低減と経営力強化へ向けた京都モデルの創出を図り、中長期的な導入を支援する研究会（35社）</p> <p>本年度は「実証モデル企業における導入検証」として、導入指導、マテリアルフロー図の作成指導、データ取得指導、分析、見える化、改善への取組指導を行い、中小企業におけるMFCAの導入に関する課題整理と京都におけるMFCA支援人材の育成を図るためオープン指導を行なった。実証モデル企業：日本電気化学(株)（京都市山科区）</p> <p>また、同時にMFCAの導入指導人材育成のため、プロセスシート作成及び導入ソフトの実務研修も開催した。</p>

#### オープンセミナー等の開催

K I I C 会員活動の拡充や新たな倶楽部・研究会活動を創出するためのオープンセミナーを開催した。

開催日	内 容	参加者
4月24日	<p>セカンドライフ オープンシンポジウム</p> <p>テーマ 仮想空間の学術・ビジネス活用の可能性</p> <p>講師 細井浩一 氏（立命館大学教授）</p> <p>テーマ 仮想空間への参入</p> <p>講師 山下悦和 氏（ナスコ(株) 常務取締役）他</p>	53名
6月13日	<p>『京都MFCA研究会』オープンセミナー</p> <p>テーマ「マテリアルフローコスト会計による生産革新と国際標準化の展開」</p> <p>講師 國部克彦 氏（神戸大学教授）他</p>	80名
1月28日	<p>セカンドライフ オープンシンポジウム</p> <p>招待講演</p> <p>テーマ：仮想世界における教育ビジネスの可能性</p> <p>講師：小林昇 氏（バーチュオシティ株式会社 代表取締役）</p> <p>成果報告座談会 他</p>	44名
合 計		177名

(資料)

1 財団の現況

設立 平成13年4月1日

基本財産 2億1,000万円

役員 顧問4名、理事長1名、副理事長1名

専務理事1名、常務理事1名、理事12名、監事2名

職員(平成21年3月31日現在)

常勤役職員数51名

(プロパー15名、府派遣21名、府OB4名、財団OB1名、  
民間出向7名、京都市出向1名、京丹後市研修生2名)

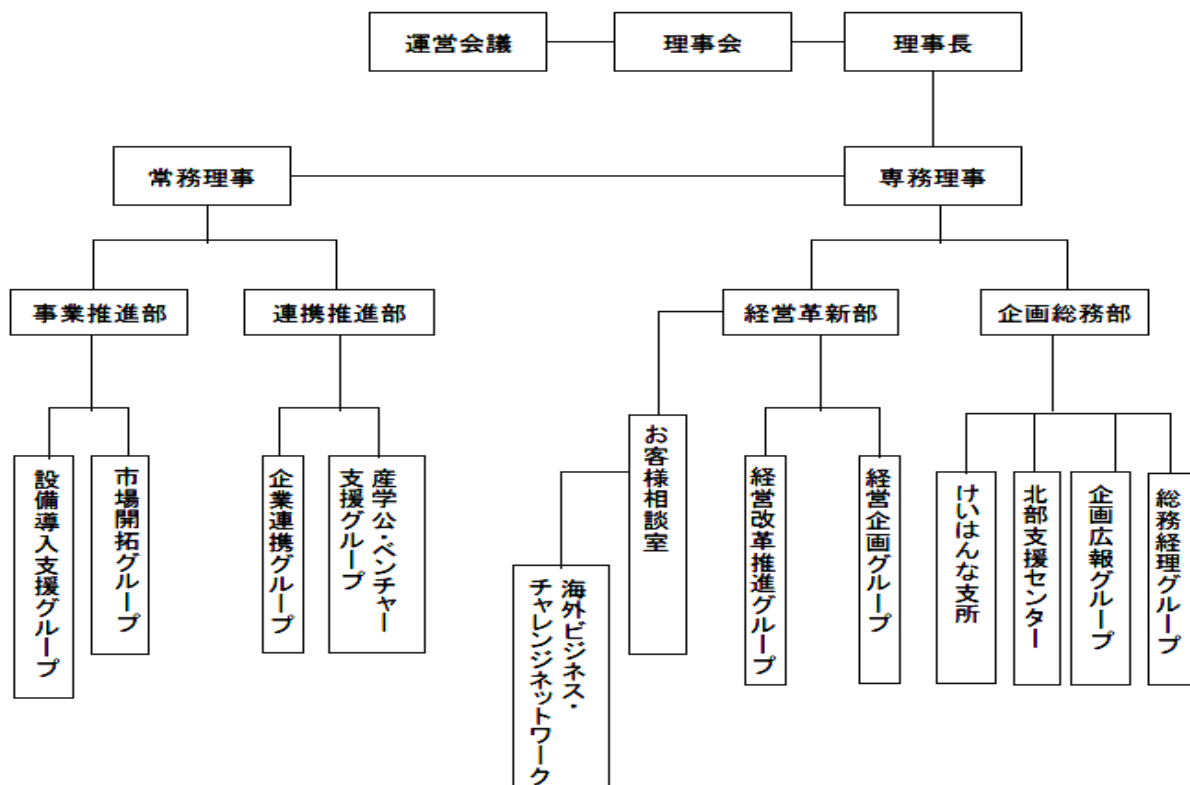
臨時職員・嘱託等13名

相談員3名

ビジネス・スーパーバイザー3名

コーディネーター3名

組織体制



## 2 平成20年度第4回受注登録企業動向調査結果の概要

この度、平成21年3月末を調査時点に、府内受注登録企業300社を対象にアンケート方式で実施した動向調査の概要を紹介します。(回答企業 205社、回収率 68.3%)

### 回答企業の概要(業種別)

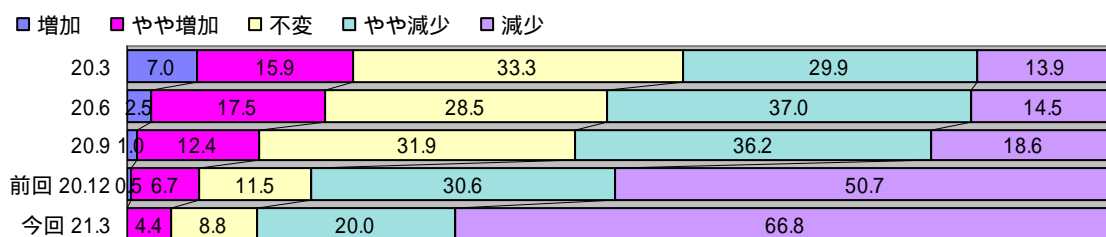
- (1)鉄鋼・非鉄関係 11.7%(24社)
- (2)金属製品関係 15.6%(32社)
- (3)一般機械関係 16.1%(33社)
- (4)電気機器関係 14.1%(29社)
- (5)輸送用機器関係 9.8%(20社)
- (6)精密機器関係 10.2%(21社)
- (7)縫製関係 10.7%(22社)
- (8)樹脂製品関係 11.7%(24社)

### (1)調査結果概要

平成21年1月～3月における府内受注登録企業の景況は、世界的な金融危機による景気後退を受け、各調査項目において、悪化が一層進んだことを示している。

### (2)受注量

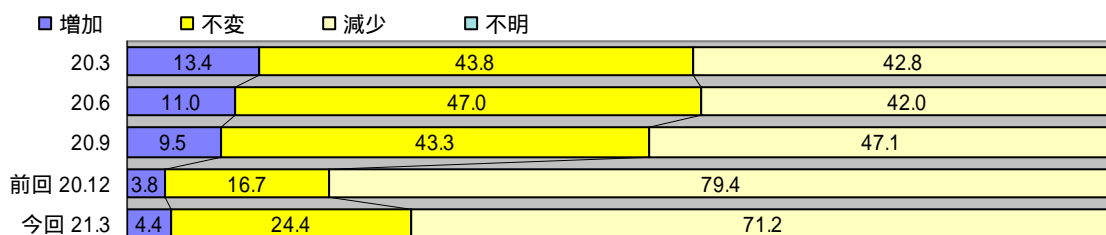
〔図1 受注量について【全体】〕 (%)



- ・全体では、「減少」とする企業が16.1ポイント増加して66.8%となり、前回調査時からさらに受注が減少した企業が増えた。

### (3)今後(3ヶ月先)の受注見通し

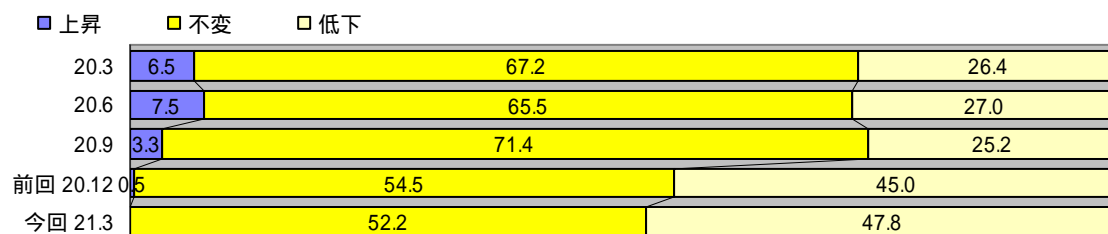
〔図2 受注量の見通しについて【全体】〕 (%)



- ・全体では、「増加」を見込む企業が前回調査時から微増して 4.4%となり、「減少」を見込む企業が 8.2 ポイント減少して 71.2%となった。

#### (4) 受注単価

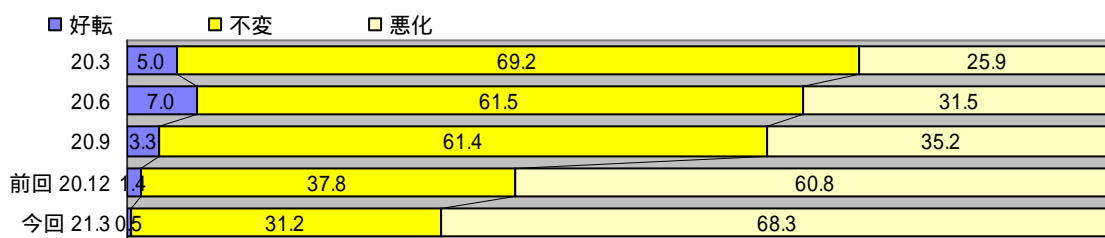
〔図3 受注単価について【全体】〕 ( % )



- ・全体では、「低下」とする企業が 2.8 ポイント増加して 47.8%となった。

#### (5) 資金繰り

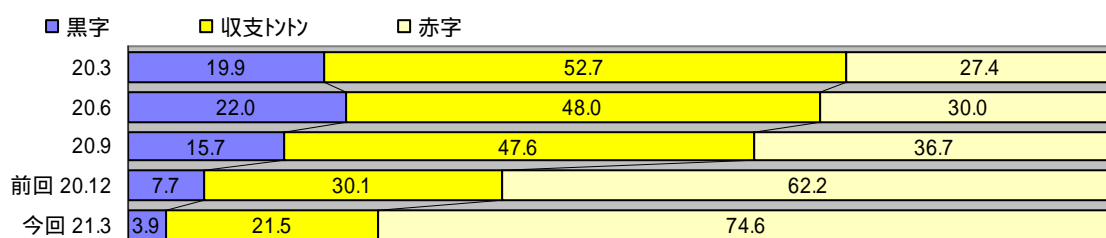
〔図4 資金繰りについて【全体】〕 ( % )



- ・全体では、受注量の減少に伴い、「悪化」とする企業が前回調査時からさらに増加し 68.3%となった。

#### (6) 採算状況

〔図5 採算状況について【全体】〕 ( % )

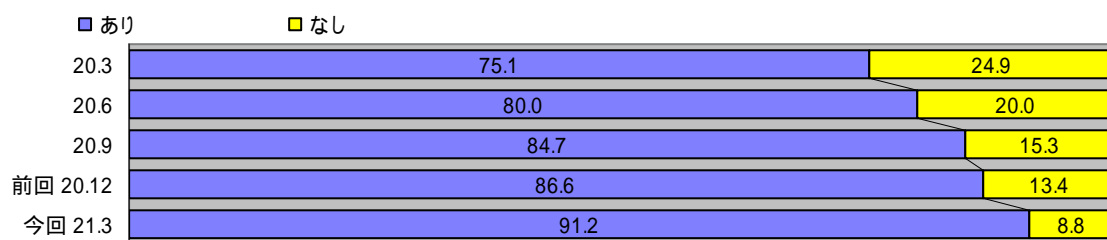


- ・全体では、「赤字」とする企業が 1 年前の調査時点に比べ 47.2 ポイント増加し、7 割を超える状況となっている。

## (7) 受注余力

〔図6 受注余力について【全体】〕

(%)



・全体では、受注量の減少に伴い、「受注余力あり」とする企業が増加している。